月刊 FALCOM MAGAZINE

Vol.34



漫画の方もフルスロットルで連載中
みんな集まれ！ファルコム学園

これまでの傑作回をもう一度！
よりぬきファルコム学園

『零えぼ』キャラアニ限定版同梱
ドラマCD『みにどらまざんまい』シナリオ掲載第２弾
「ドラマ版・ストーカーの捜査依頼!!」
「ボクとアニキの７日間戦争」

アニメ『みんな集まれ！ファルコム学園』
最新情報を一挙大公開！

啄木鳥しんき
イラストメッセージ

ティオのファルコムラジオ めんどくさいです…でもがんばりますの 舞台裏

jdkバンド
ボーカル・コテカナの
コテ放題♥

ファルコムニュース

閃をクリアした人必見！
気になるキャラクターたちの秘密に迫る!?
日本ファルコム株式会社 代表取締役社長
近藤季洋氏インタビュー

FALCOM MAGAZINE

CONTENTS

3 目次

4 閃をクリアした人必見!
気になるキャラクターたちの
秘密に迫る!?
日本ファルコム株式会社 代表取締役社長
近藤季洋氏インタビュー

22 アニメ『みんな集まれ!ファルコム学園』
最新情報を一挙大公開!

24 みんな集まれ!
ファルコム学園
新久保だいすけ

32 よりぬきファルコム学園
新久保だいすけ

58 『零えぼ』キャラアニ限定版同梱
ドラマCD『みにどらまざんまい』
シナリオ掲載第2弾

78 啄木鳥しんき
イラストメッセージ

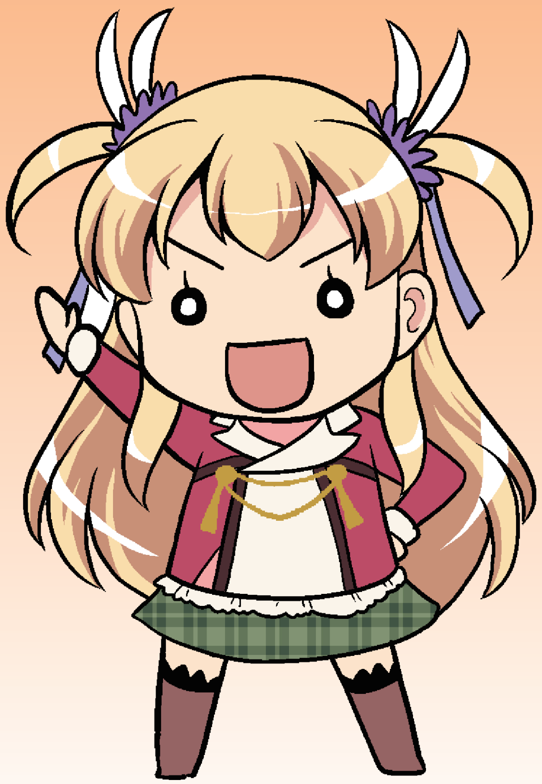
80 jdkバンドドラマー・オカジの
人生半キャラずらし

82 jdkバンドボーカル・コテカナの
コテ放題♥

83 ティオのファルコムラジオ
めんどくさいです…
でもがんばりますの舞台裏

84 ファルコムニュース

85 FalcomFanArtCollection



THE LEGEND OF HEROES 閃の軌跡

リベール通信緊急号外

潜入レポート

リベール通信
帝国支部
アッシュ洋平
リベール通信帝国支部の新米記者。先輩であるナイアル・バーンズにあこがれ、日々スクープを追う。

閃をクリアした人必見!

気になるキャラクターたちの秘密に迫る!?

日本ファルコム株式会社 代表取締役社長

近藤季洋氏インタビュー

待望のエレボニア帝国を舞台とした『閃の軌跡』の発売から2ヶ月。編集部はついに近藤社長への超ロングインタビューに成功した！　キャラクターに焦点をあて、謎に包まれた部分から小ネタまで、18ページにわたって とことん語っていただいた必見のインタビューだ。ネタバレ満載なので、クリア後に読むことをオススメするぞ！



PROFILE
近藤季洋氏
日本ファルコムの代表取締役社長。『軌跡』シリーズには第１作目の『空の軌跡FC』から制作に携わっている。

エンディングの反響が大きかったですね

――11月になり、パッチのver.1.02も配信されましたが、ゲームの反響、パッチ後の反響などありましたら教えていただけますか？

近藤季洋氏（以下敬称略）：ゲーム自体はやはり、エンディングの反響が大きかったですね。自分たちが思っていた以上にユーザーのみなさんにはびっくりするような終わり方だったようで、早く続きを遊びたいという声をたくさんいただいています。初めからあそこで終らせる予定だったのですが、社内でも、あそこで終らせるのは「いいのかな？」という意見も確かにありましたね。

帝国編は「空の軌跡」の頃から仕込んで来た、スタッフにとっても念願のタイトルになりますので、やはり、流れを考えても一本で終われないよね、というものがありました。今回の尺のなかで内戦終了まで描くというのはできなくもないでしょうけど、それでユーザーのみなさんに100％満足してもらえるかと言ったらですね、たぶんそれは難しいだろうと考えまして。であれば、1作目は一番期待してもらえるところで一旦幕を引くという形で終らせるようにしました。特に今回初めて「軌跡」シリーズを触れた方が多いんですけれども、そういった方たちからの驚きの反応が多かったですね。慣れている方は、ああ、いつもの展開ねっていう感じだったみたいですけれども（笑）。

――一作で終わったら逆に怒るよっていうプレイヤーの方もいらっしゃいますからね（笑）。

近藤：どちらなんでしょうね。自分達としては帝国編はやはり1作では終われないというところから始めていますので、初めからああいう形でいきたいと決めていました。

――パッチで変更された部分を教えてください。

近藤：基本的には、一番要望をいただいていた読み込み速度の改善ですね。あとは、イベントの早送り機能なども追加しています。わりと小技的なところで言うと、魚を釣り上げたときに魚のアイコンが表示されたり、クオーツの表示で「R」を「レア」にするなど、より快適にプレイしていただけるように細かく手を加えています。

《起動者（ライザー）》は2人だとは限らない!?

――ゲームをクリアして、いろいろな謎が残されたと思うんですけど、キャラクターについて教えてください。まずは主人公のリィンになるのですが、リィンはドラマCDのなかでユン＝カーファイから《七の型・無》を授けられてますが、これはどういったものでしょうか？

近藤：これはまだわからないですね（笑）。存在だけで語られているものですので。

――最後のヴァリマールで戦うときに、スカーレットに対して刀を持たずに戦っていますよね？

近藤：そうですね。八葉一刀流のなかには剣を持たないで戦う型もありますので。ただあれは《七》ではなくて《八》になります。

――こういったことに関しても、今後、わかるような形になりますか？

近藤：そうですね。八葉一刀流はユン老師から手ほどきを受けた人間は、一通り習ってはいる設定なんですよ。ただ、そのなかで何を研ぎすますというかというのは、各自の使い手によるってことになっているんですね。アリオスだと、《二の型・疾風》を得意としていますが、リィンも使いますよね。そういった意味では、リィンはまだこれからなのかもしれないですね。彼自身のエンディングに至る経緯を振り返っても

リィンはまだこれからなのかもしれないですね。



■ 英雄伝説 閃の軌跡

メーカー	日本ファルコム
機種	PlayStation 3 PlayStation Vita
発売日	9月26日
価格	【PS３】通常版8,190円（税込）、限定ドラマCD同梱版9,240円（税込）、DL版6,800円(税込) 【Vita】通常版7,140円（税込）、限定ドラマCD同梱版8,190円（税込）、DL版6,200円(税込)

らえばわかるとおり、まだまだ悩んでいます。剣も悩んでいますし、自分も悩んでいますしね。

――ちなみに、カーファイは今後作品に登場する予定は？

近藤：これは、展開次第でしょうね（笑）。

――一応、帝国にはいるんでしょうか？

近藤：どこに今いるのか誰にもわからないんですよ。ふらっと現れては、ふらっといなくなったりする人なので。あと、「白き魔女」のゲルドと一緒で、本当に会いたいかどうか……謎のままのほうがいいかもしれませんし。本当にこれはわからないですね。もしかしたら登場の機会はあるかもしれません。

――どれくらい強いのか気になりますよね。八葉一刀流は強い人が多いですし。

近藤：極めた人は全員、『剣聖』ですからね（笑）。カシウスといい。

――どれだけ強いんだろうなって感じですよね。あと、リィンの胸の痣は、《起動者（ライザー）》の証なのでしょうか？

近藤：これもやはり、今後の展開で語られることになっていくと思うんですよ。例えば、リィンは髪の色や目に変化がありますよね。でも、それはクロウには見られないんですよ。やはり、《ライザー》としても、リィンならではの何かがあると思うんです。このへんはぜひ、続編を楽しみにしてほしいですね。《ライザー》も2人ということはない気がしますし（笑）。

――次はアリサですが。彼女はラインフォルト社自体、どれぐらい把握していたんですか？

近藤：ラインフォルト社自体がいろいろな派閥に分かれてしまっていて、イリーナですら、把握しきれているかどうかわからない状態です。そんなかでアリサはどこまで把握しているかということになりますよね。普通の人よりかは把握しているんでしょうけど、分からないことも多いと思います。ゲーム本編の中でそこから逃げないで関わっていくという決心をしましたので、今後はより深く自分の実家のラインフォルトにかかわっていくことになるんでしょうね。

――ルーレについたとき、ラインフォルトに関してけっこう話をしていたので、それなりに詳しいのかと思っていました。

近藤：まあ、導力車のことも詳しいくらいですし。グエンにいろいろ仕込まれたのかなっていうところはあるとは思いますけどね。

――アリサ自身も機械いじりが好きなところもあったりするのですか？

近藤：小さい頃から身近なものではあったので、普通の人よりかは導力技術的なものに詳しいでしょうね。

――ところでラインフォルトは一応は立場的には庶民的な位置づけなんですか？

近藤：立場としては平民ですけど。ただ、平民というにはあまりにも巨大な存在かなとは思います。世界企業ですしね、ヘタな貴族よりかはずっとメジャー。一応、あそこの領主はログナー侯爵ですけど。まあ、帝国ならではの状況ですよね。社会地位的なもので言うとラインフォルトというのは、貴族からも無視できないですし、帝国政府から見ても重要なファクターですよね。



《ライザー》としても、リィンならではの何かがあると思うんです。

――皇帝から爵位が与えられるということはないんですか？

近藤：例えばオズボーンは、平民出身ですけど爵位を与えられていますよね。そういうことはもちろんあると思うんですよ。イギリスでナイトの称号を特別に貰えたりするのと似たような慣習はあると思いますよ。

――ところでアリサの母親のイリーナは、シャロンが執行者だと知っているのですか？

近藤：イリーナがシャロンに対してどういうオーダーをしていたのかというのを振り返ってみてほしいんですけど、普通の人だと思っていたら出さない指示が多いですよね。

――確かにそうですよね。アリサ自体はシャロンが強いことに驚いていたとは思うんですけど、シャロンが普通ではないと感じていたりするのでしょうか？

近藤：アリサ自体は、シャロンは凄くできる、家に仕えているメイドみたいな感覚だったと思いますよ。シャロンが所属している《ウロボロス》という存在が一般的なものではないので、それを士官学院に入る前のアリサが知っていたということは考えづらいですね。

――では次はラウラなんですけれども、彼女が目指しているある人物なんですけど、この人物とは父親なのでしょうか？　それとも聖女？

近藤：これはどっちなんでしょうね（笑）。

――ここらへんの話は、実家の方でわかるのかな、と思っていたんですが。

近藤：実家でのエピソードが、お父さんがバタバタしているという話があって、そして、リィンの抱えている悩みとかもあり、そこまでは踏み込まなかったんですよね。レグラムにはラウラのこと以外に謎が残されていると思うのですけど、やはりそのあたりとセットで、ラウラの目指す人物は語られることになっていくと思うんですよ。いずれにしても、お父さんは目標にしている人物の1人だとは思うんですけどね。

――以前も聞いたかもしれませんが、彼女のミドルネームのSは、サンドロットを表しているのでしょうか？

近藤：このへんはご想像におまかせしますね（笑）。

――《ウロボロス》のアリアンロードの部下の鉄機隊のメンバーも、ラウラとよく似た技を使ったりしますよね？　あの鉄騎隊と、レグラムに伝わっている鉄機隊は同じものなのでしょうか？

近藤：何とも言えませんが、ただアリアンロードの設定というのは「碧の軌跡」である程度語られていたと思うんですけど、かなり超常的な設定ですよね。当然、そのへんと絡んでないはずはないので、いずれはこの関係などに結びついていくはずです。

――アルゼイド流は、鉄騎隊で使われた剣術などの流れを汲んでいたりするのでしょうか？

近藤：250年前のアルゼイド流は、どういう位置づけだったんでしょうかね。副長しか使っていなかったの

「貴族派」っていう一枚看板でべたっと組織などを描くシリーズではないと、みなさんご存知だと思いますので（笑）。

か？　それとも鉄騎隊のみんなが使っていたのか？　いずれにせよ、それぞれ影響はしあっていたと思いますよ。

――アルゼイド流の道場はレグラムにはありましたけど、他に支部的なものはあるのでしょうか？

近藤：実際に道場がどこにあるかはわからないんですけれども、帝国でヴァンダール流と並んで有名な武の一門ですので、やはりあるところにはあるという設定です。

――エリオットなんですけど、彼は謎という謎はないですが、Ⅶ組のリィンやガイウス以外のクラスメイトたちとの関係が気になりました。どういった感じなのでしょうか？

近藤：エリオットは、リィンと接する時と、他のキャラと接するときで態度が変わらない印象がありますよね。例えば女性陣も、他の男性メンバーほどエリオットのことを近寄り難いとは思っていない。他のクラスメイトから見ても、わりと親しみやすいキャラクターだと思います。誰から見ても、エリオットはエリオットだねという感じのキャラクターなんじゃないでしょうか（笑）。

――エリオット自体は貴族に近寄りにくいとか言っていたりしますよね。

近藤：貴族の若様でしょとか、一緒に来るの？　とか、話しかけづらいとか、まあ、独り言なんですけど、けっこう言ってますけどね（笑）。でも彼は含むところがないんですよね。凄く素直な男の子なので。ですから、周りも警戒していないという。一番警戒されていないクラスメイトだと思われている気がします。

――四大名門出身のユーシスですけれども、彼自身は考え方として「貴族派」に賛同しているのでしょうか？

近藤：ユーシスは、まず兄のルーファスとの会話に着目してほしいですね。「おまえなりに見極めろ」とユーシスにルーファスは言っていますよね。ですから、ユーシス自身は、アルバレア家の次男としてどういう風に考えて、どういう風に行動していくのかを決めていくのはまさにこれからなんじゃないでしょうか。それにもし「貴族派」を支持しているのであれば、お父さんの指示に従うと思いますしね。でも、彼は実家に対して不信感とはいわないかもしれないですけど、疑問をいだいている。彼がもし「貴族派」に行くようなことがあっても、べったり「貴族派」ではなくて、彼なりの何かを確立していくタイプだと思っていますね。そして、それがリィンたちと重なって行くかどうかすら、まだ今の段階ではわからないですけど。ただ、ゲームのエンディングの段階では、Ⅶ組の影響は受けてしまっているのは確かだと思います。

――最初ちょっと嫌みなキャラかな？っと思ったんですけどね。

近藤：見た目と設定をパッと見ると、そういう印象を受けると思うんですけど。でも最初から、あれ？って思わせるところもありますよね。

――マキアスとのくだりからそうですよね。

近藤：ユーシスの言っていることのほうが正しいんですよね（笑）。マキアスのほうがヤな奴に見えるという。何も知らない状態で一周目をプレイされると、たぶんそう感じると思いますよ。

――ユーシスも売られたケンカを買ってしまうから、嫌味に見えるかもしれないですけどね。

近藤：そのまま甘受する筋合いはないっていうのが、ユーシスのスタイルですからね（笑）。でも、マキアスとのやり取りでも言っていることは正論なんですよね。ユーシスは自分に非があれば直すし、未熟であればそれを認める人間です。マキアスはそれすらしない（笑）。まあ、最初の方のマキアスは、余裕がないですからね。そんな彼に、ユーシスは通り一遍な見方をするんじゃないって諭してるんですけどね。

――そのユーシスの兄のルーファスなんですけど、「貴族派」の軍備強化というか、立場的にはカイエン公に賛同しているのでしょうか？

近藤：彼のセリフで「四大名門」も「貴族派」も一枚岩ではないというのがあったと思うんですけれども、彼の口からそういう言葉に出るということは、まったく全てを同じくはしていないんじゃないですかね。父親のアルバレア公爵やユーシスともまた考え方が違いますからね。「軌跡」シリーズの群像劇の描き方は、やはりそれぞれに信念や思惑があって、一見、よくある設定に見えても、よりきめ細かく書き込んでいくというのがルールです。「貴族派」の描写についても、この先どうなっていくのか注目してほしいですね。「貴族派」っていう一枚看板でべたっと組織などを描くシリーズではないと、みなさんご存知だと思いますので（笑）。

――ルーファスはまさにそうですよね。悪い人には思えないけど、たまに黒い部分も見えたりして。

近藤：まあそうですね。やはり貴族であるということを全面に押し出して、わりと強硬な姿勢を見せることもありますからね。レーグニッツと一緒になってユーシスやマキアスをからかってみたり。食えない人物であることは確かだと思います（笑）。

――先ほど話題に上がったマキアスですが……。

近藤：やはりマキアスも「革新派」の思想の持ち主とか、そんな単純なものじゃないとは思うんですよ。今まで貴族を嫌っていたのは、どちらかというと政治的な思想というよりもっと私情によるものですよね。お父さんは確かに「革新派」のなかでも平民出身の出世頭ですが、それが貴族を嫌っている理由ではないことはゲーム中でしっかり描かれています。また、彼自身も貴族のなかにもいいやつがいるということをしっかり言っていますしね。逆に平民だからといって善良だとは限らないと受け止めていますし。Ⅶ組メンバーの全体に言えることですけど、全員社会のなかで自分がどういうしていくべきかを考えるのは、これからという描き方になっているはずです。オリヴァルトは、Ⅶ組全体に対する期待を表す言葉として、「第3の風」という言い方をしていたと思うんですけど、やはりオリヴァルト自身、Ⅶ組全員に対して、「貴族派」や「革新派」とは違うところを目指していってほし



いという期待をしていると思うんですよ。もちろんⅦ組全員が単純にそれに迎合するかというと、クセのある連中なのでそうじゃないかもしれないですけど。そのへんが、今後の物語で主軸になっていくはずなので、どうなっていくかは見守ってあげてほしいなと思います。

――レーグニッツなのですが、「貴族派」にとっては、重要な人物なのでしょうか？　それとも、あくまでもオズボーンの部下的な見られ方を？

近藤：まぁ、「貴族派」にもいろいろいるでしょうから。本当にベタな貴族にとっては、平民出身ではあるので、それだけで気に入らないという人もいるかもしれません。逆に力を認めるオリヴァルトみたいな人がいたとしたら、単純にそういう目では見ていないでしょうし、千差万別だと思います。オズボーンの部下というか、盟友というい方をしていますよね。「貴族派」ではないですけど、テロリスト達はけっこう重要視していましたけどね。

――あなたに直接恨みはないがってギデオンも言っていましたしね。

近藤：そうですよね。テロリスト側から見ると、レーグニッツは直接の敵でないことは確かですし。彼らのターゲットはあくまでもオズボーンなので。ただ、レーグニッツは、これまで要職は貴族が牛耳ってきたのに対して、オズボーンによって変わって来ているという面を代表する人物であることは確かですよね。

――レーグニッツはトールズ士官学院の理事をしていますが、Ⅶ組設立にはそれぞれ思惑があってとゲーム中に出て来ましたよね。そういったところも、今後は語られていくことになるのでしょうか？

近藤：それは当然出てくるでしょうね。ただ、そこはオリヴァルトの主張が大きいところなんじゃないんでしょうか。はっきりオリヴァルト自身が言ってますからね。序章から。

――次はフィーですが、彼女が旅団解体から士官学院に入るまで何をしていたんでしょうか？

近藤：時期的なところを考えると、あまり期間が空いていないんじゃないでしょうか。ゲーム中でも、団のメンバーが消えて、サラに出会うまでというのは、ほとんど間がない描写になっていますし。今の段階では、その間に大きなことがあったとは語ってないですよね。

――旅団時代のメンバーからは、フィーはどう見られていたのでしょうか？

近藤：かわいがられていた感じですよね（笑）。

――猟兵王自体は戦場に出したくなかったっていう感じでしたよね。

近藤：娘みたいなものじゃなかったんですかね。でも、次第に戦闘の方面でも活動するようになっていった感じですね。

――ところで、カイエン公のところにいた西風の旅団のメンバーが「姫」といっていましたが、あれはフィーのことでしょうか？

近藤：それはフィーのことです。



――ではⅦ組メンバーのなかでは一番謎の多いエマなのですが、彼女とセリーヌはずばり何者なのでしょうか？

近藤：本人達が語っているとおりだと思います（笑）。何かしらの使命を背負って見守っている存在ということですね。その見守っている対象というのは、ゲームを終えた方達はわかると思うんですけど、もちろんリィンのことです。彼女たちの一族自体がどういうものかは、これから語られることになります。

――セリーヌは使い魔みたいなものと考えた方がいいんですかね？　それとはまた別のもの？

近藤：同族の人間としてクロチルダがいるんですけど、彼女にもグリアノスという鳥がいたと考えると、別のものではなさそうですね。

――クロチルダとグリアノスの関係を見ると、エマよりもセリーヌのほうが立場が上なんじゃないかという見方もできますよね？

近藤：そこは個人的な性格もあると思うんですけどね（笑）。セリーヌは、いろいろとエマの指示に従わずにやらかしてくれたりするので。グリアノスはそういうことをしなさそうですよね（笑）。

――エマはリィンがいるから士官学院に入学したと思うんですけど、同じⅦ組に入ったのも、何か手を回したりしたのでしょうか？

近藤：Ⅶ組の存在自体が伏せられていたわけですから、そこは意図的ではないでしょうね。士官学院に入ったこと自体は意図的だと思いますけれど。アリサも含めて、入学するまでⅦ組のことは知らなかったわけですしね。エマはまず使命があって、確かめに来たわけですよ。その何かを。バックボーンが一番わからないというところが、彼女のアイデンティティなんじゃないですかね。

――絆イベントでも、最後までわからないとは思いませんでした（笑）。

近藤：真のヒロインっぽいですよね（笑）。最後は固定メンバーですし、学院祭ではメインボーカルをしていますし。

――ところで、他のメンバーはミスティのことを知っていたりするんですが、エマ自身は直接声を聞くまで気付かなかったんですよね？　その理由はあったりするのでしょうか？

近藤：その理由はもちろんありますね。でも、今は言えないです（笑）。

――ラジオなどで聞く機会がありそうですけどね。

近藤：そのへんは、当然、エマのことをクロチルダも意識していると思いますよ。自分の障害になるのでないか？とか、何かしら考えてはいたんじゃないでしょうか。今の時点で言えることは、これぐらいですかね（笑）。

――次はガイウスなんですけど。あらためて考えてみると、風の導きで上位３属性のことを感じられたり、ちょっとシャーマン的なところがあると感じたんですが？

近藤：ノルドの民自体が、ああいう場所で暮らしている人達なので、自然とそういうことに対する感性が高いのではないでしょうか。

――弟たちも、大なり小なりちょっとこの場所は違うなっていうのを感じるのでしょうか？

近藤：そうかもしれません。ガイウスは、特にそういう能力が高そうですけどね。観察力もありますし、鋭い人なので。

――ガイウスは完璧超人すぎますよ

バックボーンが一番わからないというところが、彼女のアイデンティティなんじゃないですかね。

トワはオズボーンだけではなく、いろんな人がほしがっているとは思いますね（笑）。

ね（笑）。

近藤：戦闘の性能的にも強いですしね。

——あとは腕の入れ墨には何か意味が？

近藤：あれはノルドの風習ですね。お父さんにもありますし。ガイウスだけがちょっとヤンチャでそういうことをしているわけではないです（笑）。

——次はミリアムについてですが。ミリアムについてはかなりお聞きしたいところではあるんですけど、まずはアガートラムについてお聞かせください。アガートラムはステルス機能がついていて消えてるんでしょうか？　それとも、どっかからパッと現れる？

近藤：まあ、隠れてるんじゃないですか（笑）。姿が見えてなくても、ミリアムがアガートラムに話しかけているような表現になっていますよね。

——隠れてるときに人がぶつかったりしたら、大変だなって思ったりもしてしまいますが。

近藤：ぶつかりもしないんじゃないかな、と思いますけど（笑）。どこかにいて、「おう」っていって飛んで来ているわけでもないと思いますね。ヴァリマールは飛んできますけど（笑）。

——ちなみに、アガートラムのセリフは置き換えたら、そのまま日本語というかちゃんとしたセリフになっていたりするのでしょうか？

近藤：今回はそこまでやっていないですね。

——ミリアムですが、かなりモデリングの表情が多いですよね。

近藤：一番表情が豊かなキャラクターですからね。よく動きますし、よく表情もコロコロ変わります。マンガっぽい表現になったりもしますしね。見て飽きないですよね。

——あと、アガートラムって性別みたいなものってあったりするんですか？

近藤：ないです（笑）。まあ、あれが何なのかって言うのもまた一番の謎だと思うんですけど。終章でヴァリマールが出て来たときに同質なものの……見た目はまったく同質じゃないんですけれども、得体が知れないっていう部分での共通性というのがそれぞれあるんですね。ヴァリマール自体はまあ、ちょっとずつ明かされてますけれど、かなり昔からその存在自体は帝国に伝わっているけれども、ただ情報がないというものので。ミリアムのアガートラムがそのへんと関係あるとしたら……というところで想像してもらえればな、と思います。

——《鉄血の子供達》のなかでもミリアムは年齢が一番下になるんですか？

近藤：《鉄血の子供達》が全員まだそろっていないので何とも言えませんが（笑）。

——もしかしたら、まだ下がいるかもしれない？

近藤：かもしれませんが、わかりません（笑）。

——《鉄血の子供達》は何人ぐらいいるのでしょうか？

近藤：ゲームの世界は、ある程度デフォルメされた世界なので、厳密に何人とは説明しがたいんですね（笑）。ただ、《結社》とは違って、メンバーの仲はいいみたいですね。《結社》は妙に牽制しあっているようなところもありますので（笑）。《鉄血の子供達》は、レクターが外交関係、クレアは鉄道憲兵隊として領邦軍への牽制、国内の武力的な部分を担っていますし、ミリアムは諜報活動を行っている。それぞれの守備範囲が違うので、お互いにいろいろと補完しているんでしょうね。

——クレアがわりとドジッ子というか、そんな扱われ方になっているような気がしたのですが？

近藤：まあ、常に上を行く人間が出てきてしまって、かわいそうですよね。ミリアムやレクターはそういうところがないですから。わりを食ってはいます（笑）。

——オズボーンが撃たれたときのリアクションも、ミリアムやレクターとは違っていたところも大きかった気がします。

近藤：クロウに出し抜かれますよね。今回は負けてもしょうがないみたいなことをミリアムが言っていたのに対して、クレアは号泣して（笑）。撃たれたときのレクターの反応はわからないですけど、クレアのような様子ではなかったのは確かですし。レクターなんかは今までの『空の軌跡』時代からのセリフを振り返ってみればわかると思うんですけど、わりとオズボーンに対して尊敬しているというよりかはお互いゲームをしているというような印象ですよね。クロウも、こいつはそういうゲームだろうというセリフがありましたけど。味方ですが、どちらかというとレクターはクロウと考え方が近いかもしれません。

——本作で《鉄血の子供達》の筆頭という言葉が出て来ましたけど？

近藤：第三章か第四章ですよね。いちいち仕込みますよね（笑）。

——ユーザーはでもちゃんと拾ってますけどね。

近藤：そうですね（笑）。

——クロスベルに送り込んでいるのもありますし、トワじゃないか？という噂もありますが。

近藤：トワはオズボーンだけではなく、いろんな人がほしがっているとは思いますね（笑）。

——Ⅶ組のメンバーでもあり、帝国解放戦線のリーダーのクロウですが、彼は士官学院に入る前から計画は進めていたと言っていましたが、そのときに協力者などはいたのでしょうか？

近藤：完全に1人で、というのは考えにくいですよね。身分であるとか、出身を消したりするのは1人では難しいでしょうし。仲間ではないとしても、信用のおける協力者はいたはずです。情報局ですら、その素性は最後の最後まで断定できなかったわけですからね。

——クロウからすると、Ⅶ組に計画を阻止されていった形になっていったわけですが、ガレリア要塞の列車砲は本気で撃つ気だったのでしょうか？

近藤：これは本人にしかわからないと思うんですけど、作戦を途中で止めたとも思えませんよね。彼の過去、いきさつを考えると。あそこまでいって撃たないっていうのは、どういう状況なんでしょうね（笑）。



――ARCUSの実験メンバーに選ばれたのも、裏から手を回していたりしたんでしょうか？

近藤：どうでしょう？　ただ、ARCUSの存在自体は公開されているものではなかったはずです。皆さんの想像にお任せします。

――サラですけど、言える範囲で結構ですので、遊撃士に入る前の過去を教えてください。

近藤：ノーザンブリアの出身であるというところから、シリーズのファンの方だとだいたい予想がつくんじゃないかと思います。ノーザンブリアと言うと、あの《塩の杭》の事件があった地域ですよね。あと彼女の持っている武器も、何かまっとうな武器ではないと（笑）。

――Sクラフトも凶悪ですからね。

近藤：えげつないというか（笑）。アリサが初めて教官の武器を見た時に、何て禍々しいみたいなことを言っていましたけど。色からしてみても、正義の味方の色ではないというところからも考えてもらえればなと思います。

――先輩方なんですけれども、アンゼリカに泰斗流を教えた人物は？

近藤：これはだいたいみなさんが想像されているとおりです。違いますって言ったらみなさんから「えー？」って言われそうですよね（笑）。

――アンゼリカは終盤に、家の意向で休学することになってしまいますけど、家との関係というのはどうなんでしょうか？

近藤：良好ではないですよね。ルーレの事件を見てもらえればわかるように、あからさまに父親のやり方に彼女自身は賛成はしてないですよね。自分の思ったように動くといった面では、Ⅶ組のどのメンバーよりもわり切りよく、思い切って行動するタイプです。しかもやり方が露骨ですよね。当然、父親は顔に泥を塗られたと思うわけですよ。

――逆にそれをアピールするぐらいの勢いで行動していますもんね。

近藤：そうですね。だから、わかりやすいといえばわかりやすいですよね。思春期の反抗みたいというか。大人に見えて、一番厄介でもあるアンゼリカ先輩（笑）。

――けっこう、人気ありますよね。

近藤：きっぷのいいというか。しかも女の子大好きで（笑）。

――でも、ジョルジュとも仲よくなっている部分も。

近藤：ダンスを踊ってますしね。

――ジョルジュは完全にアンゼリカを狙っているんですか？　トワやクロウのセリフから、そういった印象を受けたのですが。

近藤：そこまで露骨にアピールはしてないですよね。彼は気持ち悪いほどメカフェチというわけでもないし。大人ですよね、

――ジョルジュなんですけど、ルーレの工科大学からスカウトされているなど、あまりにも能力が卓越しすぎているのではないか？と思うのですが。ゼムリアストーンの武具作成から、騎神の調査もしてますよね。



わからないですよ。マルガリータが強いかもしれないですし。（笑）

近藤：学院祭の時に1人でずっと地下で調べてますよね。

――やはり彼も引く手あまたという感じなんでしょうか？

近藤：それはそうだと思いますよ。実際に名前はゲーム内ではあがっていないですけど、ラインフォルトからオファーがあってもおかしくないでしょうし。

――あと、ジョルジュの名字がノームと言いますが、これは精霊信仰のノームと関係があったりしますか？

近藤：聞いたことがないです（笑）。

――もしかしたら、精霊信仰のある世界ですし、そういうのにかけていた部分もあったのかもしれないですね。名前を設定する時に。

近藤：そうかもしれませんね。

――先輩陣としては最後になりますが、トワ生徒会長。

近藤：人気が出ましたね。

――意外でしたね。そこまでパーッと出てくるとは（笑）。あと、コレ（手の平を前に出してブルブル振る動きをする）も。

近藤：あのモーションはアリサにも使われているんですけれども、トワの専売特許になっちゃいましたね。

――トワがやっているからカワイイんだと（笑）。

近藤：トワ専用モーションでいいじゃんって。本当は汎用モーションなんですけどね。

――そうですよね。そのトワですが、まさかクロスベルに行くとは思わなかったんですよ。

近藤：『碧えぼ』に出てきてほしいなって、個人的に思ってるんけど（笑）。

――『碧の軌跡』では、ギデオンはおそらくこれだろうというのが振り返ってみてわかるんですけど、随行メンバーですからね。しかも、事件があった時にはビルにはいなかったですしね。

近藤：市外のほうにいたのかもしれないですね。オルキスタワーじゃなくて。

――でも確かに、一緒にちょろっと歩いていてほしいですね。メンバーとして。

近藤：そうそう。シナリオ陣も『碧えぼ』に出してほしいっていってちらっと言ってましたね（笑）。

――出たらよろこぶだろうなあ、みんな。すごく事務的な能力があってていうのがあって、クロスベル入りが決まったんでしょうけど、随行メンバーに選んだのは誰でしょうか？

近藤：オファーしたのは、どこでしょうね？　最終的には政府ですかね。一番近そうなのはオリヴァルトな気がしますけど。

――戦闘能力的なところでは、トワはどうなんでしょうか？

近藤：未知数です（笑）。そこはあえて。この学院、誰が強くてもおかしくないんで。貴族クラスの生徒だってそこそこ強いですしね。

――生徒ではフリーデルが一番強いんじゃないかって言われますよね。

近藤：わからないですよ。マルガリータが強いかもしれないですし（笑）。ベアトリクスさんも含め。

――ミントとかは、どう考えても弱そうだなって思いますね。

近藤：教官達は強いですよね。

――じいさん、ばあさんが強いっていうのは

近藤：英伝の伝統ですよね（笑）。

――トールズ士官学院のサラ以外の教官なんですけど、トマス教官とマカロフ教官があそこまで強いのは驚

《結社》もたいへんだなって思いますけどね、いろんな人がいて（笑）。

きました。どこかで習っていたんでしょうか？

近藤：教官になる段階で習ったわけではないと思います。トマスは純粋に魔法使いに憧れて、自分で勉強したみたいなことを言ってましたし。

——確かに。マカロフもルーレ工科大学を首席卒業してますもんね。

近藤：そうですね。そもそも素質があるんでしょうね。筋がいいと言いますか。

——では、美術部のメアリー教官もじつは？

近藤：戦ってはいなかったですけど、どうなんでしょうかね？　強かったら萌えますけどね。あの風貌で。

——メアリーさん人気あるんですよね。

近藤：人気あると思いますよ。美人だし、清楚だし。

——マカロフとの関係もみんな気になっているみたいですしね。

近藤：マカロフは意外と出番があるんですよね。

——そうですよね。

近藤：まあ、あといかにも理系の先生っていう感じがする。

——はい。

近藤：教頭は強いのかな？

——教頭はどうなんですかね。リーシャで全部持っていっちゃいましたけどね。

近藤：ブロマイドを持ってましたけど。あのクエストはけっこう僕も好きなんですよ。中庭でおろおろしていて（笑）。

——あそこでリーシャが出てくるとは思わなかったんですけどね。あと、トールズ士官学院の獅子勲章なんですけど、あれは毎年1人がもらえるものなのでしょうか？　それとも基準に達した生徒がいたらみんなもらえるもの？

近藤：いや、どうなんでしょうね。

——一年のときにトワがもらってるんですよね。確か。

近藤：毎年1人が必ずもらえる……でも校風を考えたら、基準を達していなかったら該当者なしでいきそうですよね。まあ、2人以上がもらえるかといったら、基準が厳しすぎてそうもないように思えますし。

——では、複数出た場合は与えているだろうし、ただなかなかそこまでは達しないという感じでしょうか？

近藤：前例もないんじゃないでしょうか。トワは確かに実質あげないとダメかなと思いますけど。リィンより、できるわけですからね（笑）。

——トワはずるいですよね。寝てみたりとか、ツボばっかりついてくるじゃないですか。

近藤：小動物系ですよね（笑）。

——本作では《身喰らう蛇》が最後の最後に本格的に正体を現しますが、話題としては、人形兵器が出て来た時点で出ていますよね。帝国解放戦線への兵器の貸し出しだったり、クロチルダやシャロンが帝国に潜伏していたりしますが、《幻焔計画》は現在、どこまで進んでいて、今後どのようになっていくのでしょうか？

近藤：クロスベル編で仕込みが完了ってことを言ってるんですよね。ですから多分、「閃の軌跡」の時点で何となくですけど半分くらいなのかなっていう感覚ですかね。今回前面に出てくるのは「貴族派」と「革新派」の抗争ですよね。その水面下で、ただ、着実に計画は進んでいると。今回は表立って出てきたのは本当に最後の最後になったわけですけど、当然続きがあります。

——どこまでこの人たちが帝国に来ているのかも楽しみですね。

近藤：ただ、彼らの話を聞いていると、オフィシャルで来ているのは今のところ、クロチルダですよね。ブルブランは、クロチルダに劇中で欲張りすぎって言われてるじゃないですか。彼が居合わせたのは多分、趣味なんですよ（笑）。執行者自体に行動の自由が許されているということもあるので。先鋒はクロチルダって考えるのが、自然ですよね。当然、これからっていうのがあるわけじゃないですか。

——「碧の軌跡」でアリアンロードが《破戒》にまかせてきたみたいなことを言ってますよね。《破戒》も実は本編に出ていたり？

近藤：どうでしょう？　わかりません、ということにさせてください（笑）。

——クロチルダがトリスタ放送局に来た理由は、Ⅶ組、もしくはリィンを監視する目的だったりするのでしょうか？

近藤：これはいろいろあるとは思いますけど、Ⅶ組が主目的でだったかと言われれば、それより本来の《結社》の使命の方が一番最優先なはずだと思います。ただ、リィンが《ライザー》だということを考えると、当然気にはしていたでしょうし、クロウとの兼ね合いもあって、監視していたというのはあるかもしれません。わざわざ声をかけているわけですし。

——結社の計画として、トリスタでパーソナリティをしていたわけですね。

近藤：まあ、そう考えるのが自然でしょうね。

——「the 3rd」でレーヴェに目をつけていたような描写がクロチルダにはあったように思ったんですけど、「星の在り処」を歌ったシーンは、狙っていれたりしてるのでしょうか？

近藤：狙ってと言うと、何を狙っていたかなんですけど、「星の在り処」自体は帝国でちょっと昔に流行ったという設定があります。それで口ずさんだっていうのもあるかもしれないですよね。レーヴェが俺の思い出の曲なんだってクロチルダに語ったとは考えにくいです（笑）。レンあたりにそういうことを言うことはあるかもしれないですけどね。クロチルダと断定できないんですけど、「the3rd」に出て来たそれっぽい人のセリフを見ると、レーヴェと仲のよいタイプじゃないんですよね。

——レーヴェはどちらかっていうとアリアンロードと仲がよさそうでしたもんね。

近藤：アリアンロードとか、レンとかヨシュアとか。ヨシュアは元々知り合いでしたからね。そのへんの人たちには、「星の在り処」のことは聞かせたことがあるかもしれないですけど。

——次はシャロンですね。彼女は現在お休みといっていますけど、ラインフォルト社に入ったのは計画の一部なんでしょうか？



近藤：これはまだ何も語られていないんですけど、ただお休みっていうことは本当だと思いますよ。だから今、《結社》の仕事で動いているという雰囲気ではなさそうですね。

——一番シャロンが気になるんですよね。次に《結社》が動き出すとして……。

近藤：そこはぜひ注目してください。《結社》もたいへんだなって思いますけどね、いろんな人がいて（笑）。しかも、執行者は全員行動の自由が許されてますので（笑）。

——自由すぎですよね。いろいろ見てると。

近藤：シャロン自体が言っていることっていうのは、どこまで本気なのかな？っていうところですよね。多分、今は休職中っていうのも嘘じゃないですし、多分アリサを見ていたいというのも本当でしょうし。謎が多いですよね。

——サラとバチバチしたりってところもありましたけどね。

近藤：今のところ、<<結社>>の役には立っていません（笑）。何となくレンと同じような立場ですよね。一応、席は残っている点とか。

——あとアリアンロードですよね。ローエングリン城で出てましたが。

近藤：出てましたっけ？（笑）。

——っぽい人がいましたよね。最後にローエングリン城で槍を投げたじゃないですか？ あれはあとで自分で取りにいったりするんですか？

近藤：それはちょっとわからないですけど。消えちゃうかもしれないですしね。まあ、「軌跡」シリーズには「外の理」というキーワードがあったことを思い出していただければ。

——ああ、なるほど。では、帝国解放戦線について。スカーレットだけ明確に出自が言われていなかったんと思うんですけど。

近藤：一応、ヴァルカンが軽くは触れてますけどね。

——ただ法剣のことについてなど、詳しくは明かされていませんよね？

近藤：そこはもう言わずもがなで、想像してください（笑）。

——今回は帝国解放戦線との決着で物語が終わると思っていたので、主要メンバーが逃げて、ああいう幕引きになって驚きました。

近藤：解放戦線のメンバーはこのあとどうするかですよね。一応、彼らの目的は果たしたんですよ。さらにその先に対する理念をスカーレットとかヴァルカンが持ち合わせているか？ それとも、これから持つようになるのか？ 何となくクロウは持っていそうですよね。まあ、どちらかというと執念で動いてきた人間たちなので、どう考えて動いていくのか。このあと帝国は内戦に突入して、帝国の国民は一斉に巻き込まれて翻弄されていくわけなんですけど、帝国解放戦線のメンバーも、目的を達したあと、そのなかでどうなっていくのかを注目してほしいですね。



——次にオリヴァルトとカレイジャス関連なんですけれども、オリヴァルトはⅦ組の設立目的であったり、ある程度の理想は見えて来ているところなんですけれども、そんななかで《結社》に対してはどう考えているのでしょうか？

近藤：どう思っているかというと、単純に一言では言い表しにくいと思うんですけど、当面のオリヴァルトの相手はシリーズの流れからいってもオズボーンですよね。《結社》も当然、それと無関係ではないというところで、もちろん仲良くできるとは思ってないでしょうし。彼はⅦ組をどうしたいとかそういうものは語られていますけれども、帝国をどうしたいというのはこれからですしね。そのなかで重要なファクターであるという認識はしていると思います。これからいよいよ帝国全体が内戦に巻き込まれて行くなかで、そういうものも見えてくるかもしれないですね。

——ヴィクターなんですけど、ラウラは当初、アストレア女学院に入れたいという話をしていたんですけど、士官学院に入学を許可したのは、オリヴァルトからⅦ組に対する構想などを聞いていたから何でしょうか？

近藤：ヴィクターが事前にⅦ組設立の経緯を知っていたということはないんじゃないかなって気がしますね。おそらく理事会、学院長、アークスを供給しているラインフォルトの一部の人たちは知っていたと思うんですけど。ヴィクターはどちらかというと、中央部分とは疎遠な人間ですし。どちらかというとラウラの意志を尊重したという方が、彼らしいと思うんですけれど（笑）。女の子らしく育ってほしいと思いつつも、結局は血は争えないっていうところじゃないでしょうか。ラウラと仲良くなっていると、チクッとヴィクターに言われるんですよね。「私の目の黒いうちは～～」って。そんなこと言うんだって思いました（笑）。ラウラがかわいいことは確かだと思うんですよ。

——そう言われると、確かにオリヴァルトの計画とは違うところにいる人だと感じますね。

近藤：もしかしたら、理事会のメンバーでさえ自分たちの子供が選ばれるって知らなかったんじゃないでしょうか。アリサのお母さんも、不肖の娘がどこまで出来るかわかりませんけど、みたいなことを言ってますし。もちろん選ばれたあとは伝えられたんでしょうけどね。Ⅶ組の生徒達に先駆けて。

——そこらへんも実は知りたいところはあるんですけど。設立の流れというのはどういった感じだったんでしょうか？

近藤：語られている通りです。設立はオリヴァルトから理事たちに提案されて。いいですよ。でもそれをやるんだったら、運用は私たちに任せてくださいみたいな話があって。そのあとで多分、本人達の選抜が行われていったのではないでしょうか。ですから、理事会のメンバーすらⅦ組の選抜結果を知ったのは、物語が始まる少し前くらいじゃないかという気がします。制服とARCUSが送られてきたのが、入学式のちょっと前ぐらいの感じですからね。

——あと、トヴァルのことなんですけれども、彼がカレイジャスの副官になっていたんですけれども、次回作で彼の活躍がもっと見られるのでしょうか？ また、ドラマCDのように声がつく予定は？

これからいよいよ帝国全体が内戦に巻き込まれて行くなかで、そういうものも見えてくるかもしれないですね。

実はあれは、飛び立った後のリィンの視界をイメージしているんですよね。

近藤：予定は未定です（笑）。予定は未定ですが、トヴァル自身は帝国編における現役遊撃士の代表格ではあるので、今後、彼が出てくるシーンというのはもちろんあると思います。

――ちなみにコミックで描かれていたエステルたちと会ったタイミングというのは？

近藤：クロスベルに行く直前ですから、七耀暦1204の頭ぐらいですかね。

――トヴァル以外にも帝国には遊撃士はいるんでしょうか？

近藤：表立って行動しているのがトヴァルですが、あれもアルゼイド家の庇護があってという部分も大きいと思うんですよ。逆にオズボーンの力が強い帝都だと、完全に差し押さえ状態でしたし。ただ、サラのように、元遊撃士で、今は別の仕事をやりつつ、何かあったらお手伝いするという人はいるかもしれませんね。

意外とあの人が！っていうことがあったりするかもしれないですね。たまにクロスベルからアリオスも出張で来ていたはずですし。

――サラたちが言っていましたね。

近藤：ただ、アリオスの出張は偽装工作みたいなところもあったので、本当かどうかはわかりませんけど（笑）。剣聖のなかで多分、一番メンタルが弱いのがアリオスですよね。後ろめたさがいっぱいあるから。コミックのファルコム学園で酷い目にあってますよね（笑）。シズクに（笑）。

――ファルコム学園を読んだあとだと、アリオスがダメオヤジな印象しか浮かばなくって（笑）。

近藤：あの先生にかかると、兄貴と父親は基本的にダメ人間になるんで（笑）

帝国に残された謎 そして……

――では、帝国自体の謎なんですけど、ノルドの巨像以外に4つぐらい巨像があるとゲーム内で言われていたんですけど、巨像と騎神の関係はあったりするんでしょうか？

近藤：う〜ん、これはやはり今のところ情報が少ないので何とも言えないんですけれど、何となくかぶってきますよね。ただ、中世時代のゴーレム的な存在もほのめかされているので、どちらかな？っていうところだと思います。

――大きさもノルドのほうがでっかいですしね。

近藤：体系的にゴーレムと騎神は関係があるのか？　ないのか？　とかですね。

――ちょっと似てますよね。外見は。

近藤：騎神の方は何となくドライケルス大帝とゆかりがあるらしいというところがあって。ゴーレムはもしかしたら、そことはデザインが若干違うので敵対関係かもしれませんし、そうじゃないかもしれませんし。

――絶対にノルドの巨像の中が割れて、ロボットが現れるって思っていたんですけど（笑）。

近藤：士官学院の旧校舎は、おそらくヴァリマールのための施設だったんですね。ローエングリン城にも同じ扉がありましたよね。そうしたら、同じ構造であると自然と考えつくんですけど、まあそういうものがほかにもあるのか？とか。いろんな謎が、「閃の軌跡」で散りばめられたんじゃないかと思います。

――さらに広がった感じですよね（笑）。今回さらに精霊信仰が新しく出て来たと思うんですけど、こちらはいかがでしょう？

近藤：精霊信仰自体は、多分かなり旧いものですね。ゼムリアの中世よりも、もっと前に端を発するものになると思います。リベール王国のツァイスにもストーンヘンジがあったんですけど、ああいった類いのものですね。

――関係ないことなんですけど、本になっていたことが本編に反映されるというのも「軌跡」シリーズの特徴だと思うんですけど……。

近藤：まあそこは、いつもどおりじゃないでしょうか。

――では、今後はゲーム内小説「赤い月のロゼ」に登場した吸血鬼も……。

近藤：吸血鬼はどうでしょう（笑）。全部、集められました？

――集めました。今回、長かったですよね。読み終わるのが大変でした（笑）。ですから、余計に吸血鬼がインパクトに残っているのかもしれないですね。

近藤：そうかもしれないですね。吸血鬼についてはまだハッキリと言えませんが、御期待いただければと思います。

――ラストバトルの後なんですが、セリーヌとリィンは安全な場所に飛んでいきますが、あの場所はどこでしょうか？

近藤：これはですね、エンディングのスタッフロールのときにいろんな光景が出るんですよ。実はあれは、飛び立った後のリィンの視界をイメージしているんですよね。その中で雪が降っていましたよね。

――ええ。

近藤：降っていそうな場所に、向かったんでしょうね。ヒントとしては、帝国内のどこかで、安全なところですね。

――来年で軌跡シリーズは10周年で、英雄伝説シリーズで25周年になりますが、本作の続きを楽しむことができますでしょうか？

近藤：ああいう形で終わっていますので、僕たちとしては1秒でも早くお届けしたいなという気持ちでがんばっています。御期待いただければと思います。

――例えば、発売時期がいつもより早まったりするといいですね？　ちなみに、もう作業自体には入っていたりするんですか？

近藤：もうとっくに入っていますよ。何を言っているんですか（笑）。

――ストーリーはもう出来上がっているのでしょうか？

近藤：お話の流れ自体はもう最後まで作られているんですよ。当然、脚本の形にする作業を今、進めているんですけれども。帝国編がどういうカタチで、どう進んで、どういう結末を迎えるのかというのは、すでに決まっています。ただ「閃の軌跡」を終えたあとのフィードバックというのも当然ありますし、ユーザーのみなさんの反響やご意見を聞きながらという部分もありますが、大筋については、もう設計が終わっていますね。

――では最後に、ファルマガの読者にメッセージをお願いします。

近藤：「閃の軌跡」は、日本ファルコムにとっては本当に大きなチャレンジで、それが非常に好評をいただいたことで、ホッとしています。ゲームを最後まで遊んでいた方はご存知のとおり、リィンのお話というのはまだまだ盛り上がっていくはずです。「閃の軌跡」でチャレンジしたことというのは、次のタイトルでさらにパワーアップしてお披露目できますし、それが続編を続けて行くということの最大のメリットでもあります。それはゲームシステムもそうですし、物語もそうですし、キャラクターの描写や書き込みもどんどんパワーアップしていくはずです。来年以降、ぜひお届けしたいと思っておりますので、最新作をぜひ期待していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。DLCもよろしくね。みしし。

重大発表!!

好評連載中の『みんな集まれ！ファルコム学園』……





2014年1月5日（日）TOKYO MX、サンテレビで放送スタート!!

まさかの“テレビ”アニメ化！でした！

キャラクター設定画やスタッフ情報も入手！

9月27日に大阪BIGCATで行われたjdkバンドライブのラストで突如発表された新久保だいすけ先生の『みんな集まれ！ファルコム学園』のアニメ化。あれから2ヶ月、続報が待たれていたが、ついにその詳細が明らかになった！ 今回入手した情報を一挙大公開するので、ぜひチェックしてほしい。

キャラクター

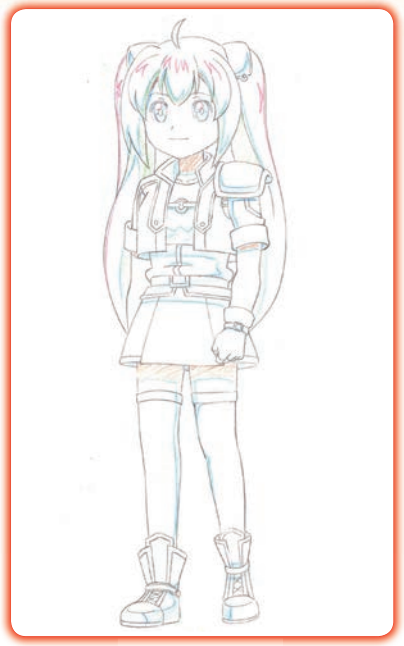
今回入手したキャラクターイラストは、アドル、ティオたちの計6人。もちろん、ゲームと同じキャストたちがアニメでも演じることに。本作にはまだまだいろいろなキャラクターがいるので、これだけでは終わらないはずだ。



ダルク・ファクト
（CV：？？？？）



アドル・クリスティン
（CV：梶裕貴）



エステル
（CV：神田朱未）



ティオ
（CV：水橋かおり）



ヨシュア
（CV：斎賀みつき）



ラッピィ
（CV：進藤尚美）

次号ではさらに詳しい情報を紹介していくほか、アニメの収録現場に突入予定！ 続報を楽しみに待て！

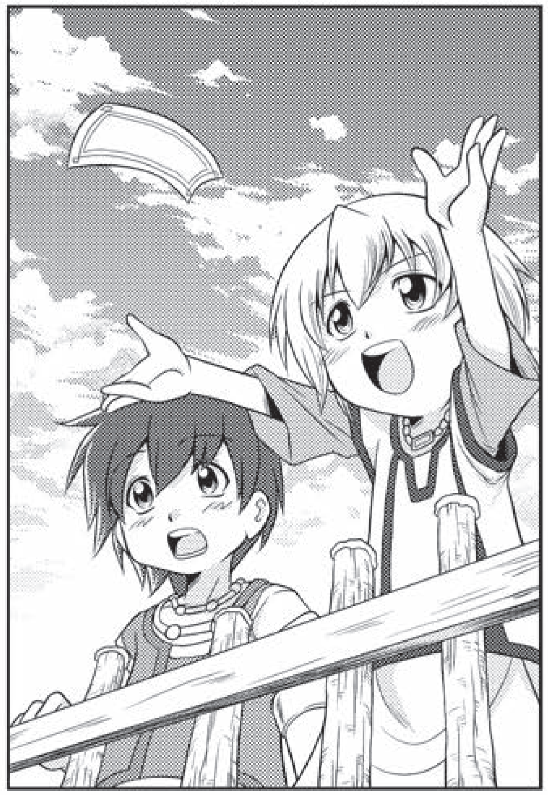
■キャスト

○アドル・クリスティン／梶裕貴
○ヨシュア／斎賀みつき
○エステル／神田朱未
○ティオ／水橋かおり
○ラッピィ／進藤尚美
ほか

■スタッフ

原案：日本ファルコム株式会社
原作：新久保だいすけ（「月刊FALCOM MAGAZINE」連載中）
製作：株式会社キャラアニ／株式会社ダックスプロダクション
制作：株式会社ダックスプロダクション
放送予定：2 014年1月5日(日)～
TOKYOMX・サンテレビにて、毎週日曜22：27～22：30
脚本：山下憲一
監督：ぴっぷや
キャラクターデザイン・作画監督：青葉みずき

みんな集まれ！ファルコム学園



新久保だいすけ

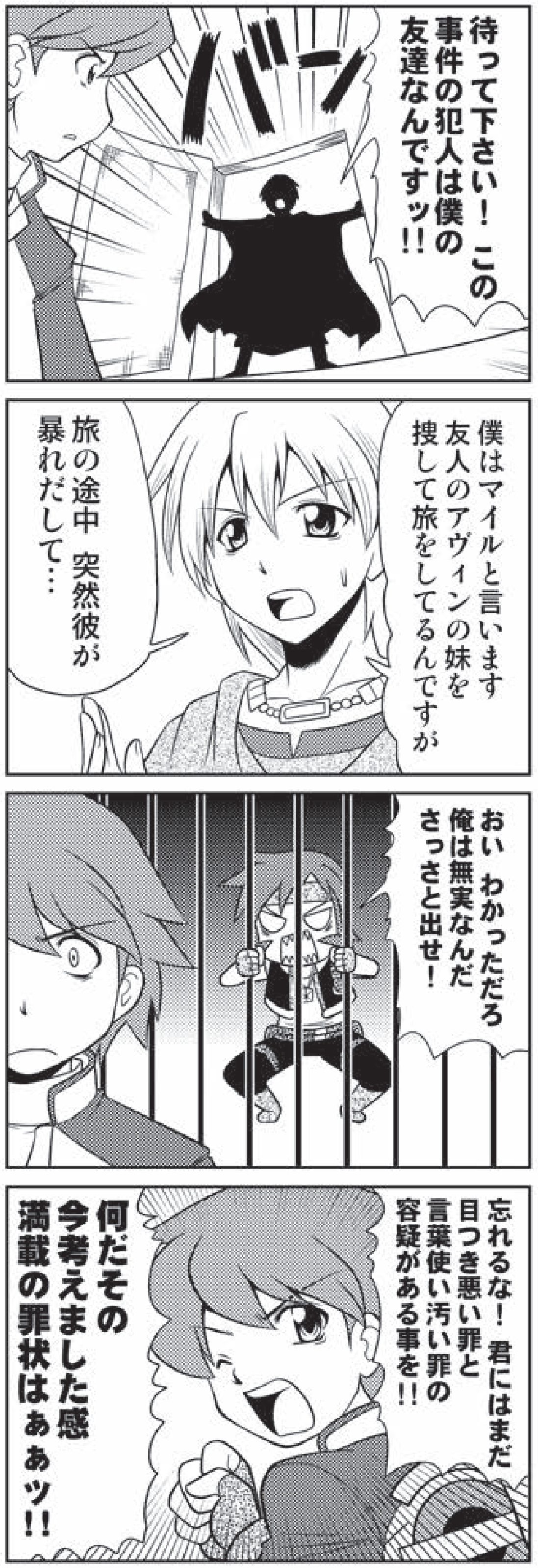
ヤンデレ



プロファイラーロイド



真犯人



伸びたり縮んだり



ダイモスとぱっぱらパラダイス



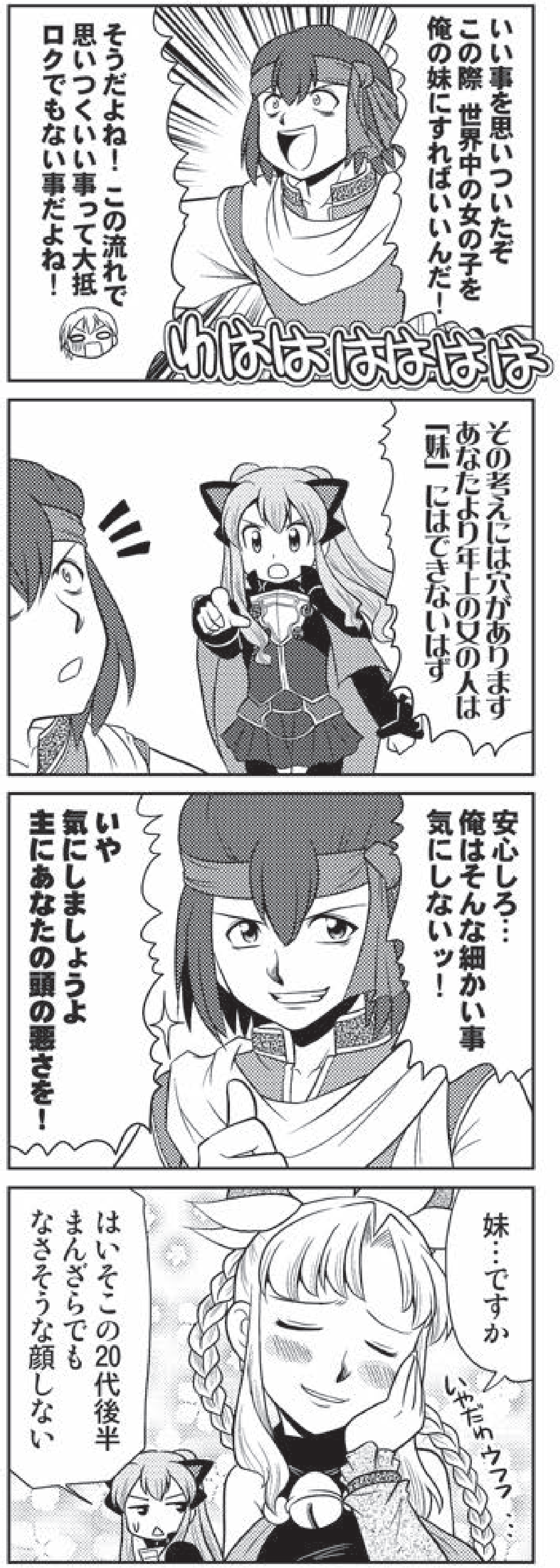
手遅れになる前に



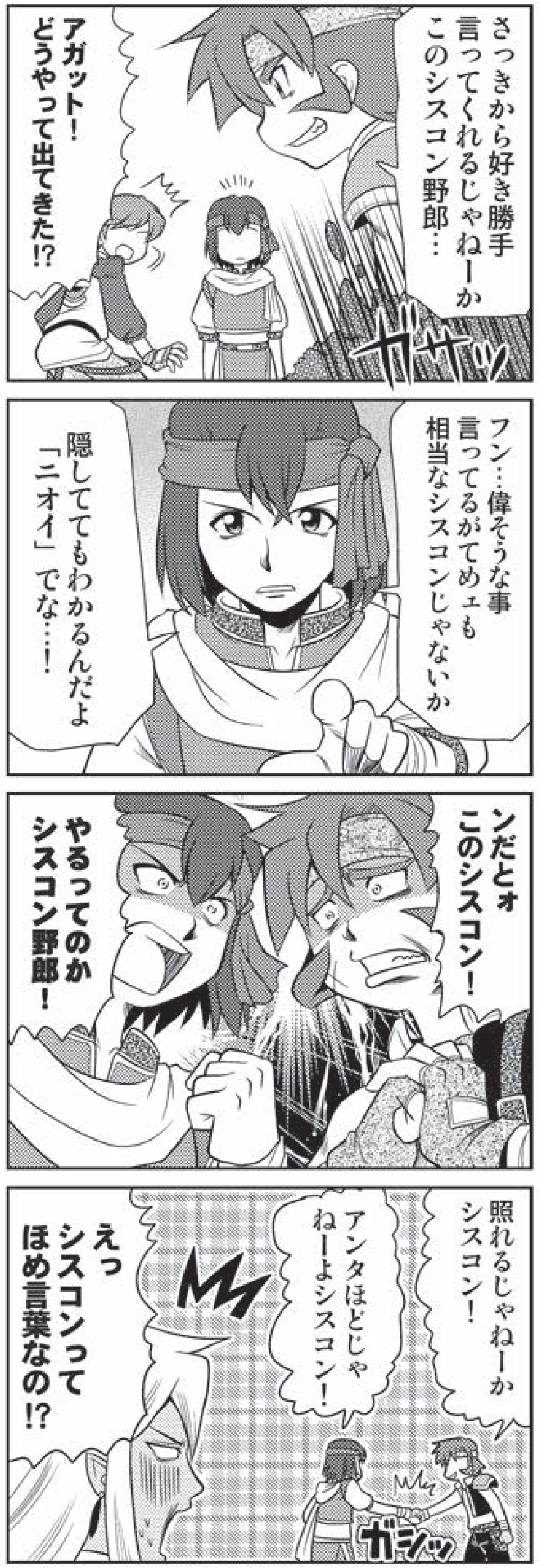
どんと来い



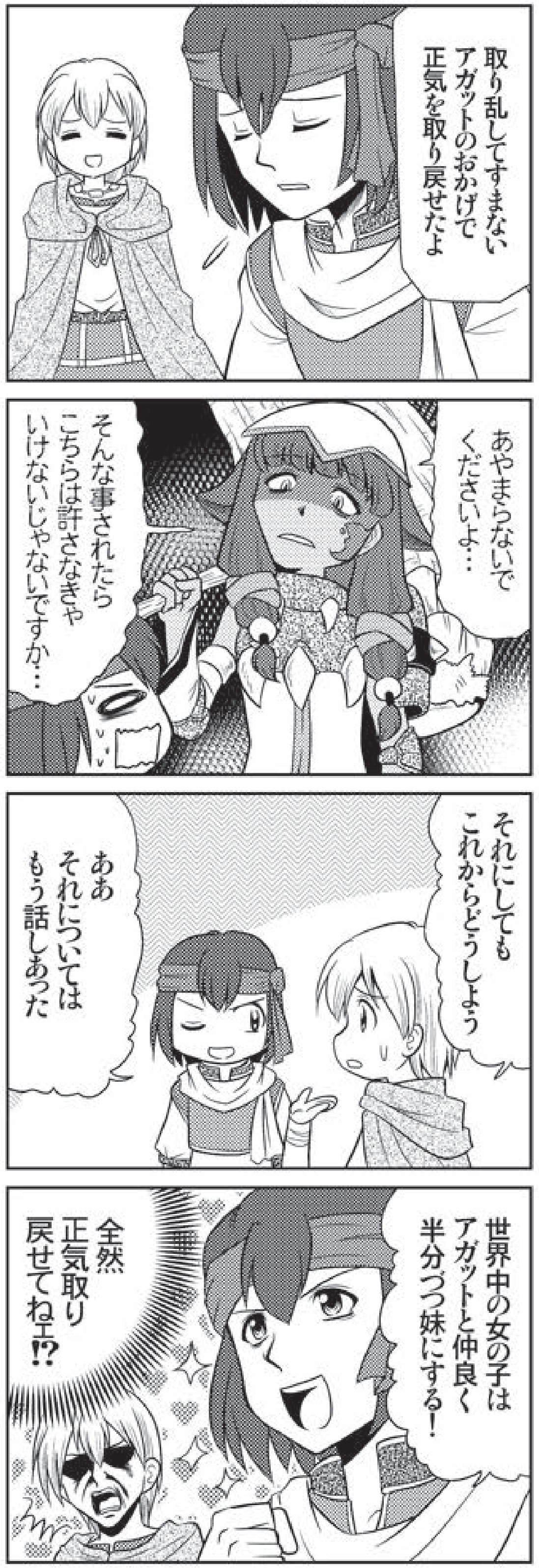
いい思いつき



対決！シスコンとシスコン



アヴィンとこれから



ブーメラン使い



専門家　妹を語る



究極の妹



究極の妹は究極のグータラと化していた

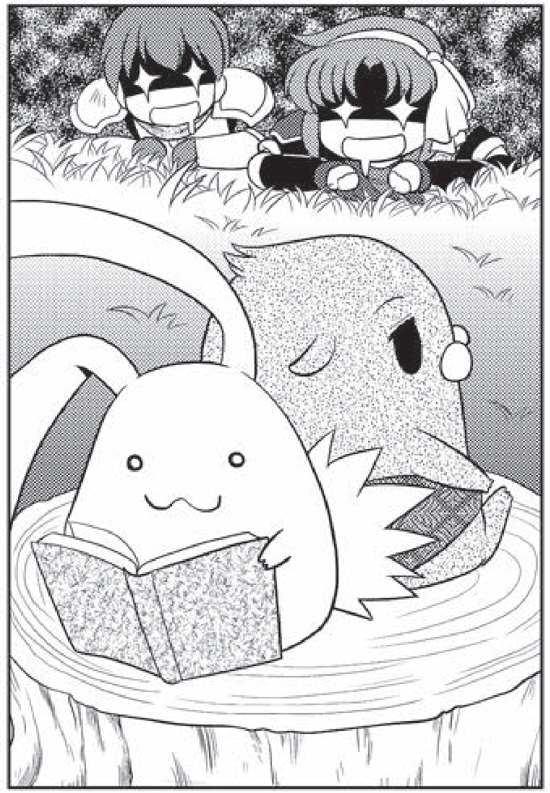
兄と冒険家



一件去ってまた一件



つづきません(笑)

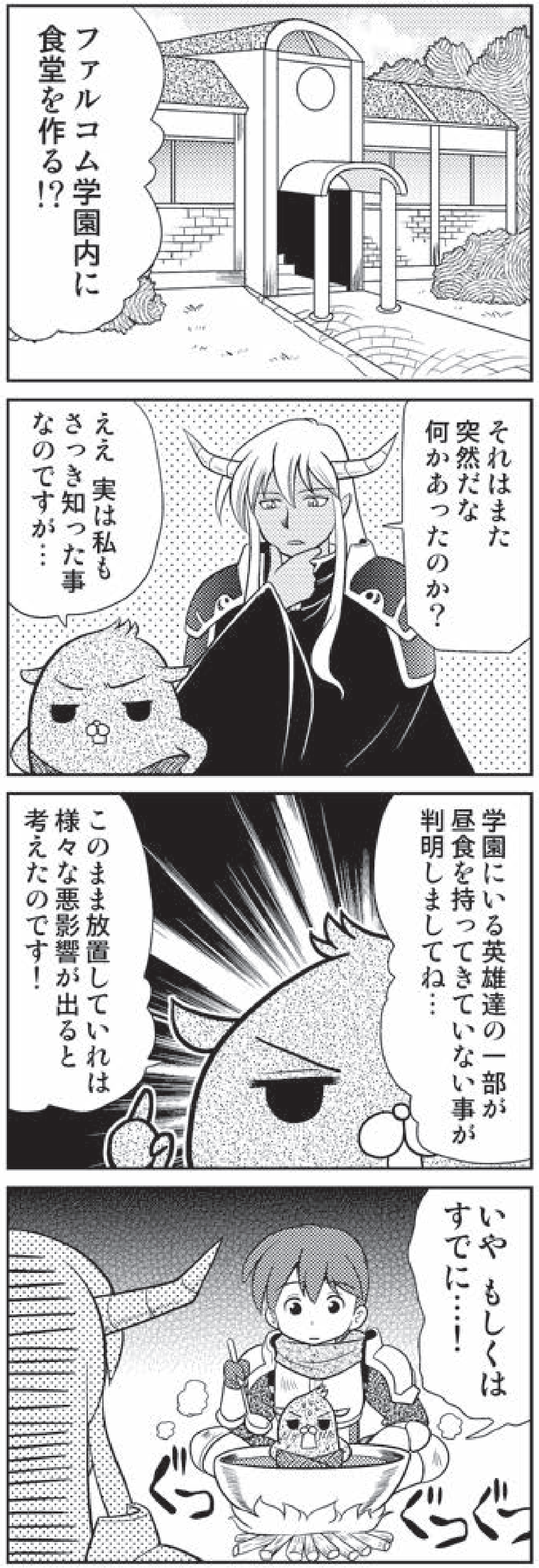


よりぬき！
ファルコム学園

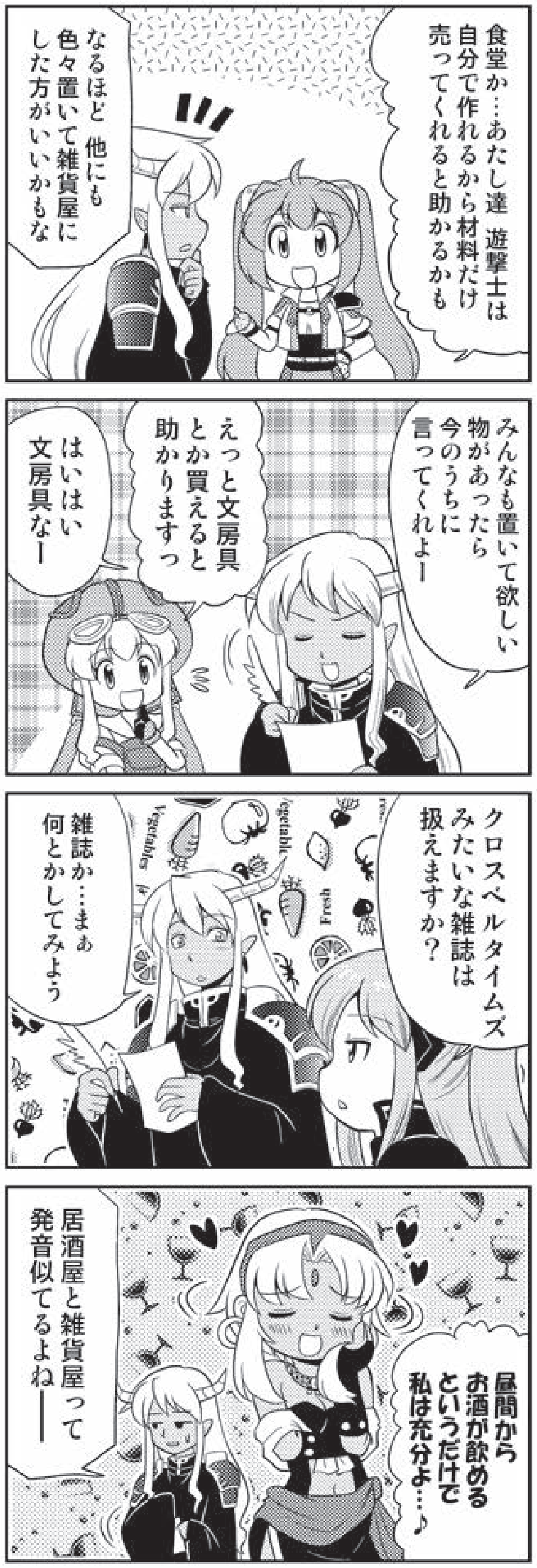
新久保だいすけ

これまでの『みんな集まれ！ファルコム学園』から選りすぐりの傑作選をお届け！
懐かしのあのキャラクターから最新作まで、ファルコムの歴史が詰まった掟破りのギャグをご堪能あれ♪

悪影響



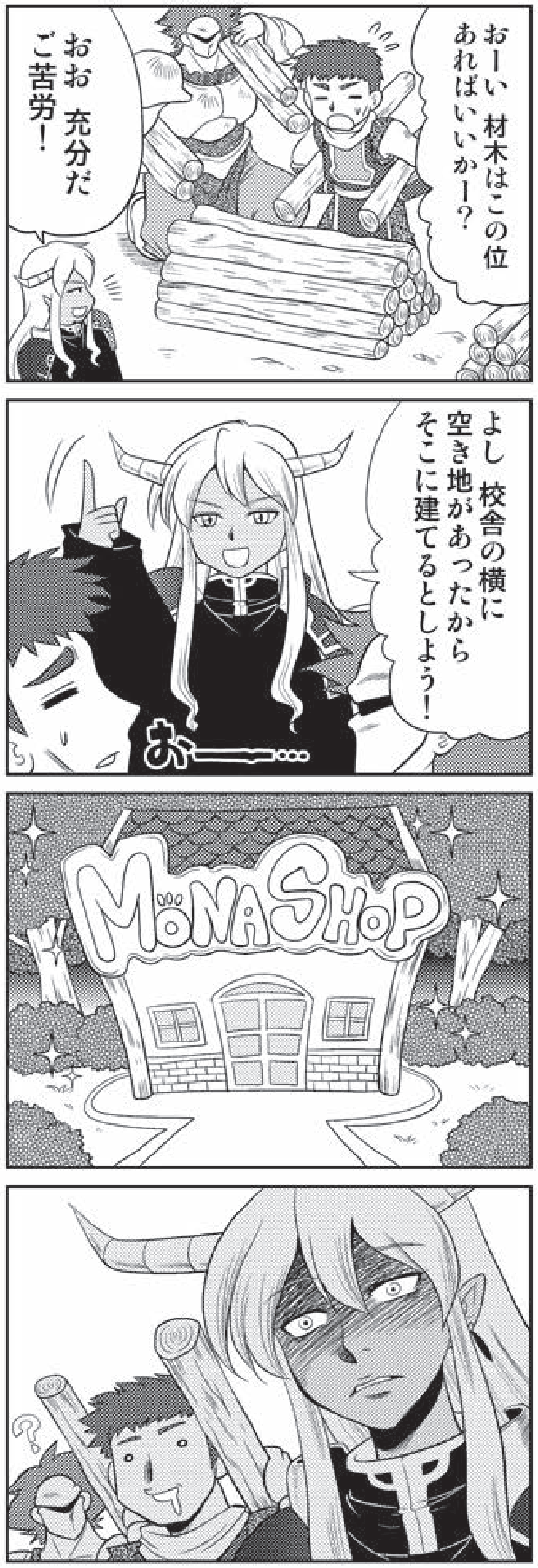
聞きちがい



あの時の貸し



空き地



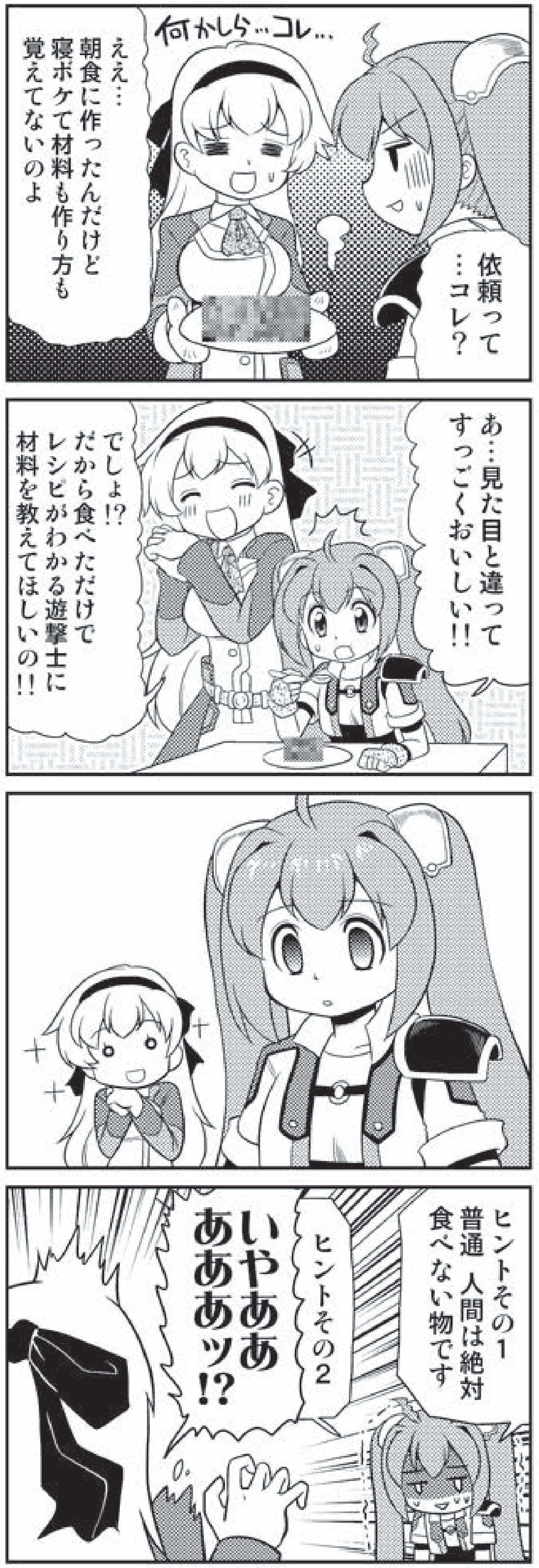
可愛いは正義



最高のメニュー



謎のレシピ



ボスキャラ達の食卓



自然な結論



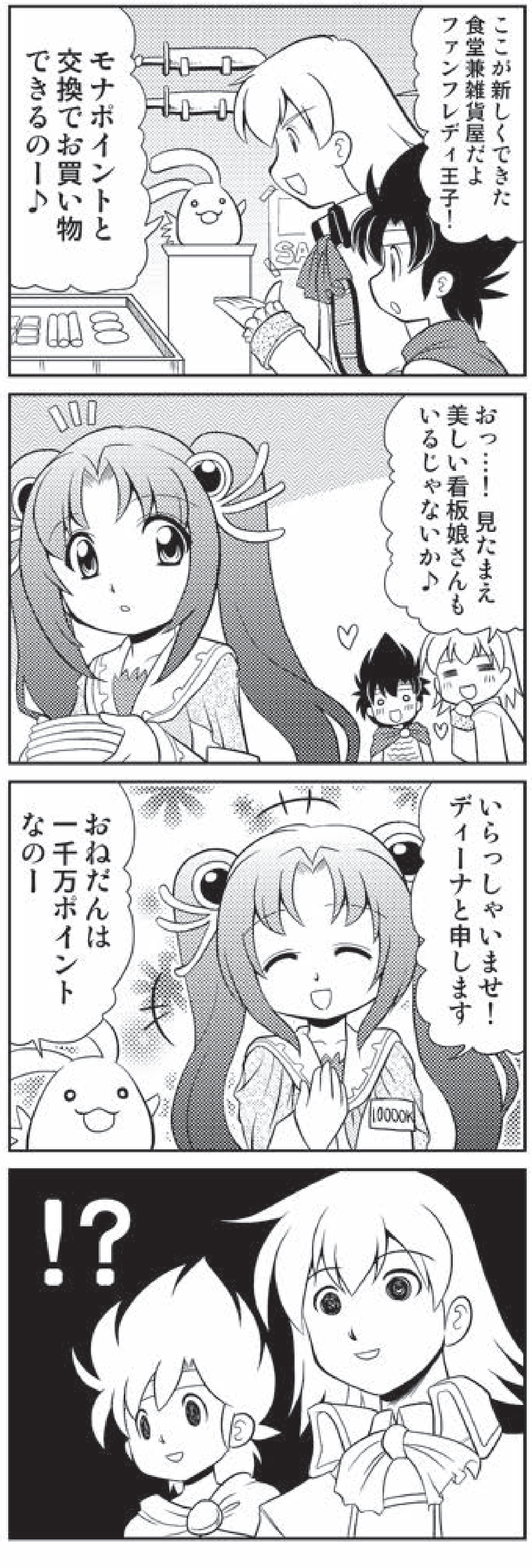
リーシャの秘密



最終強化



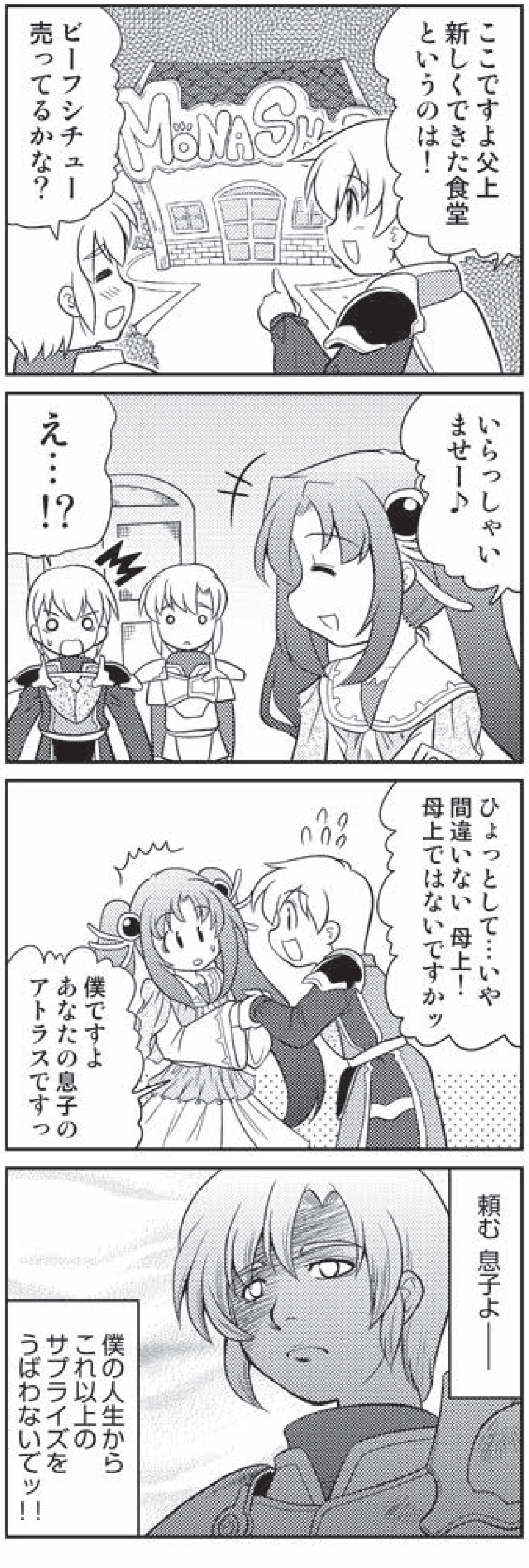
売り物



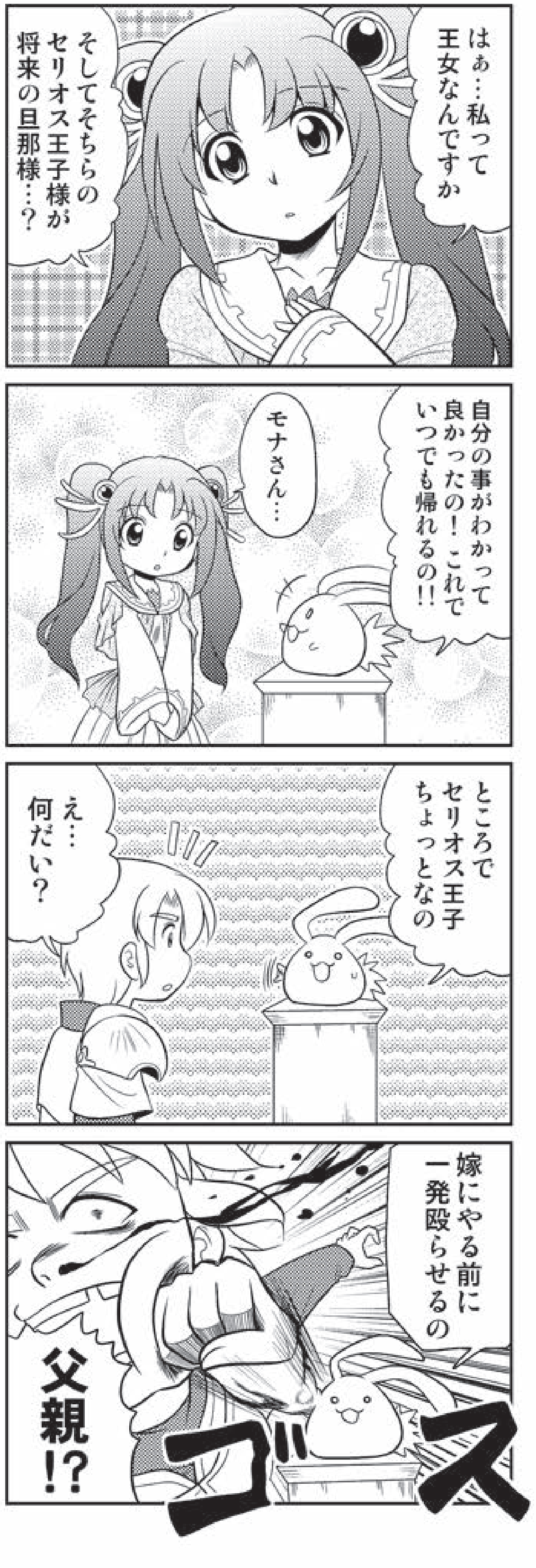
悪人



再会と初対面



儀式



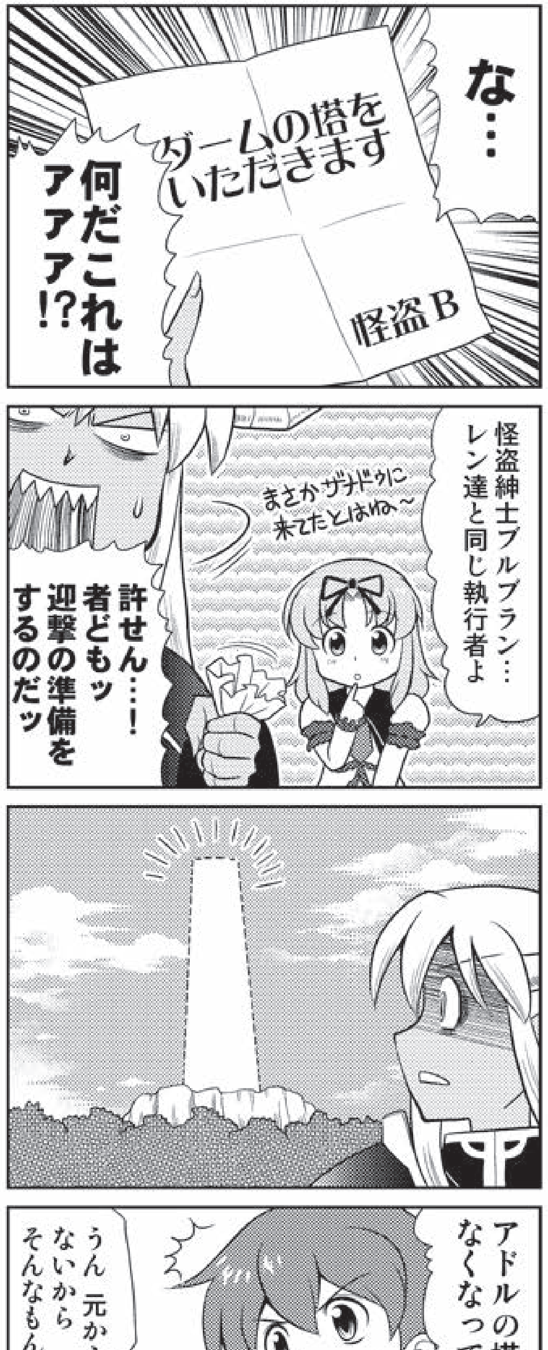
被害届



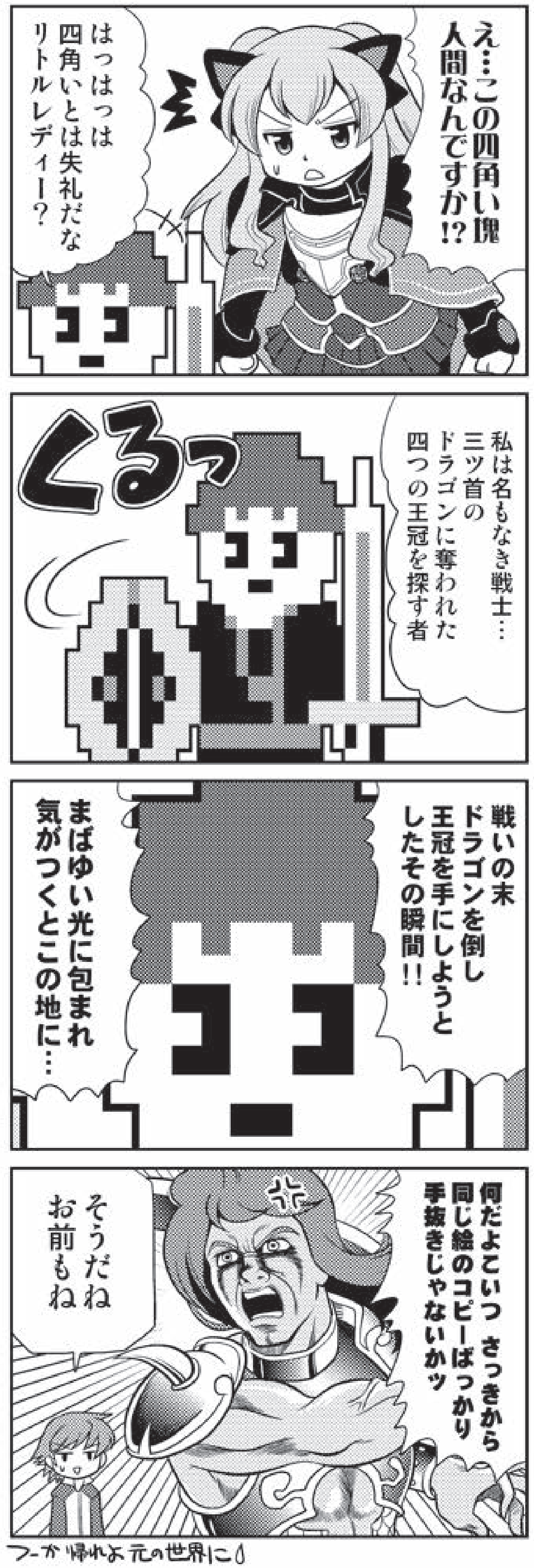
ザナドゥ連続盗難事件



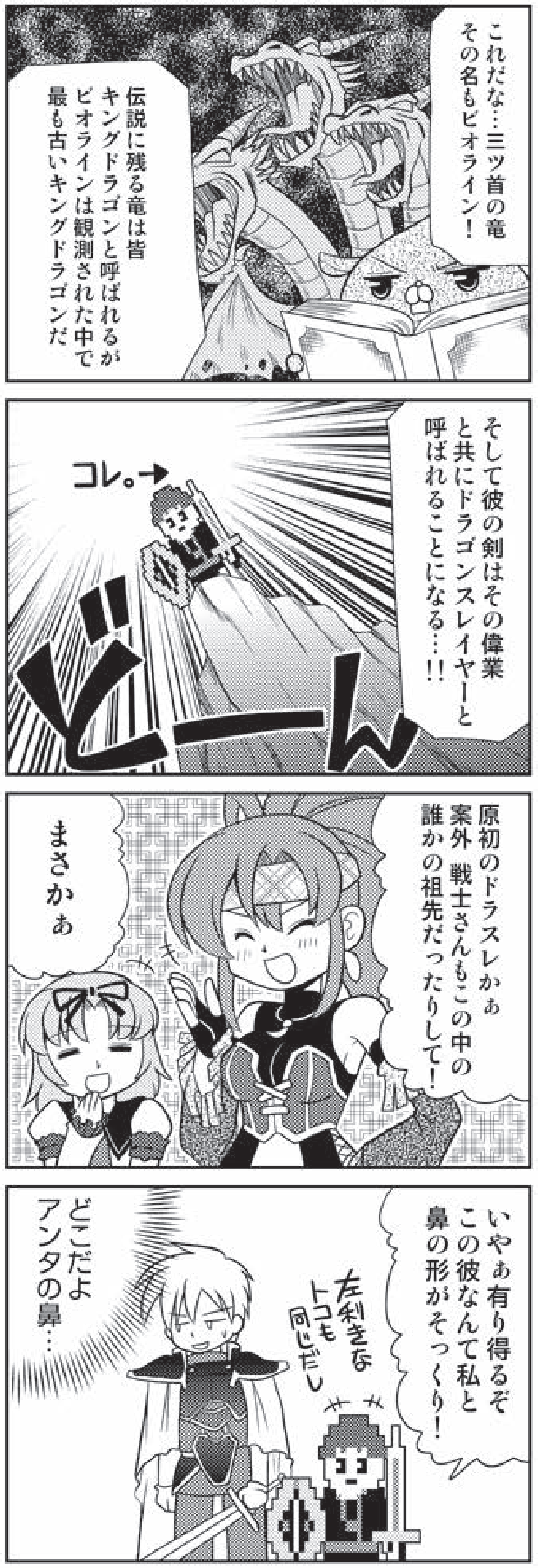
怪盗Bの挑戦



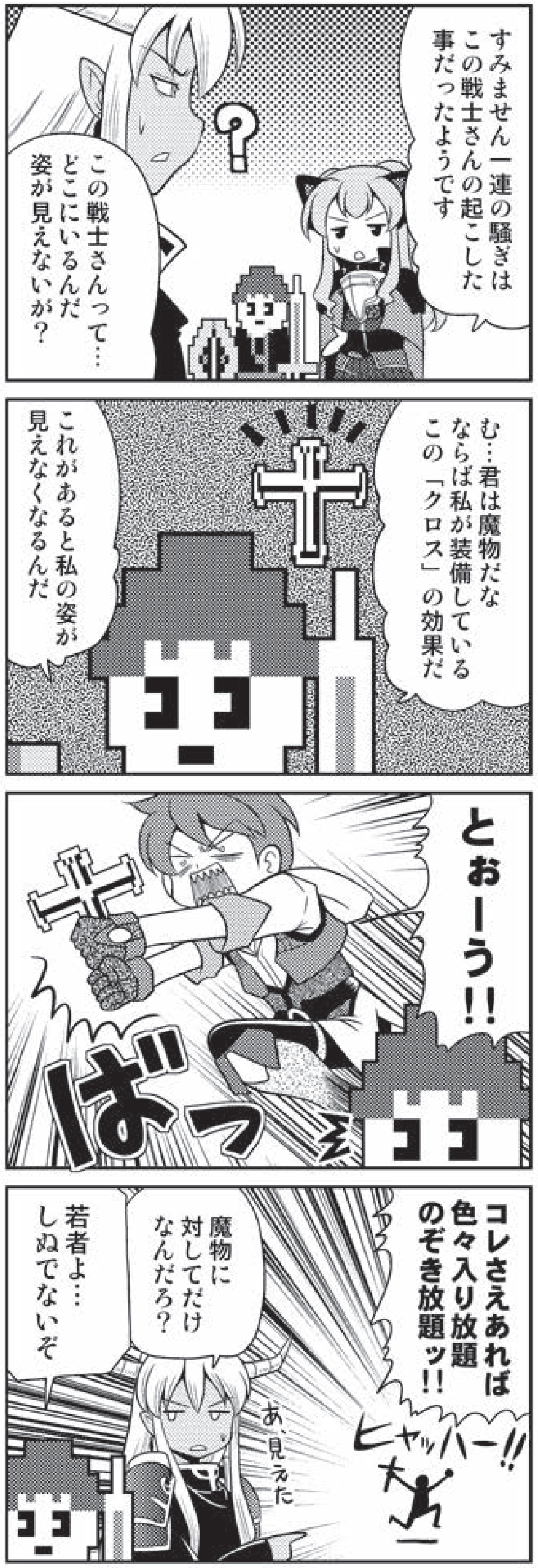
合理化という名の手抜き



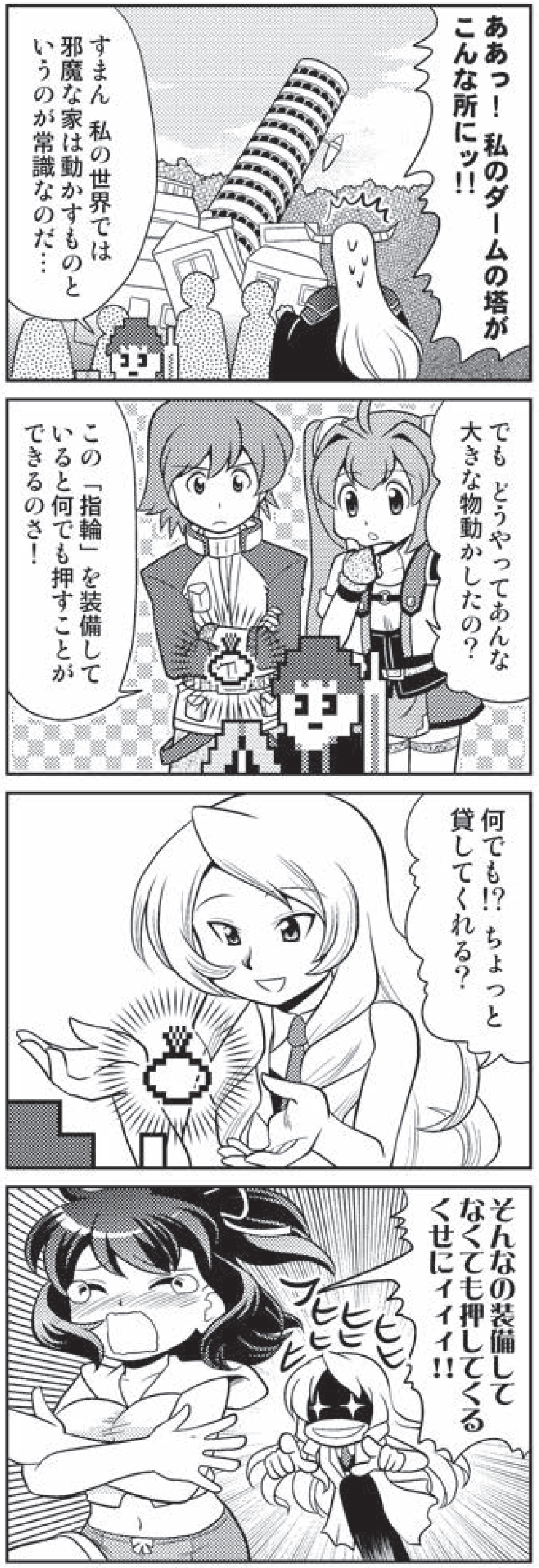
ドラゴンスレイヤーⅠ



見えない十字架



魔法の指輪



ちからじまん



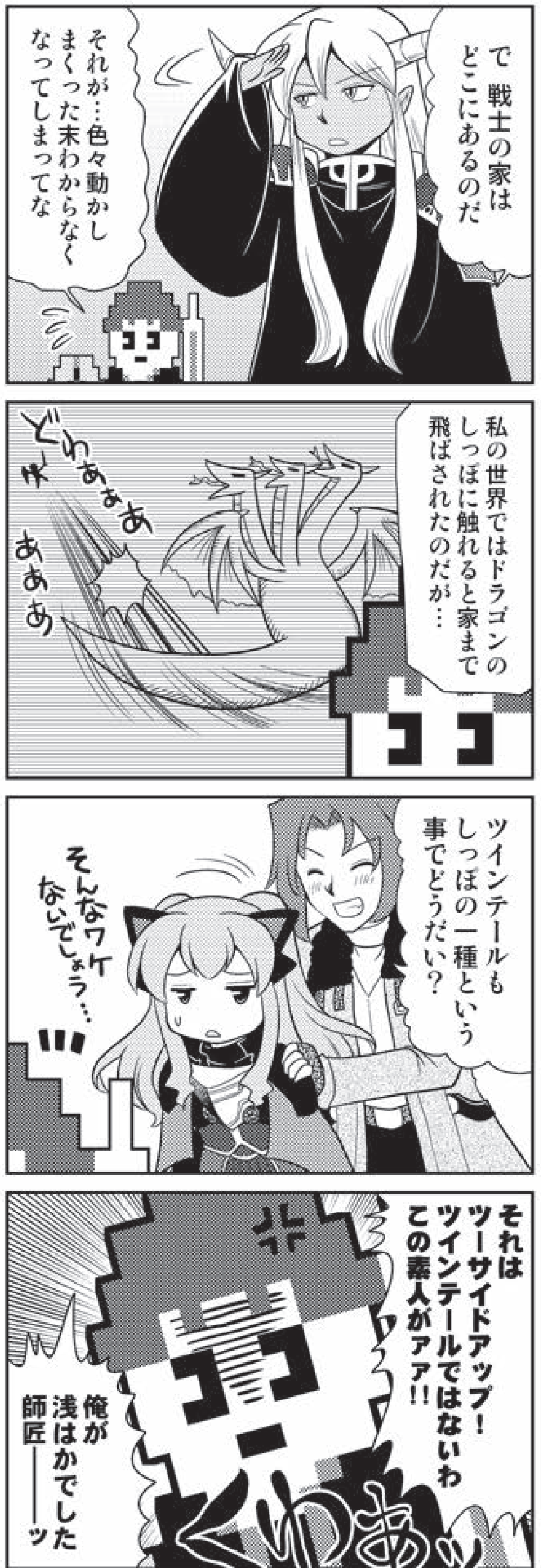
進化する冒険



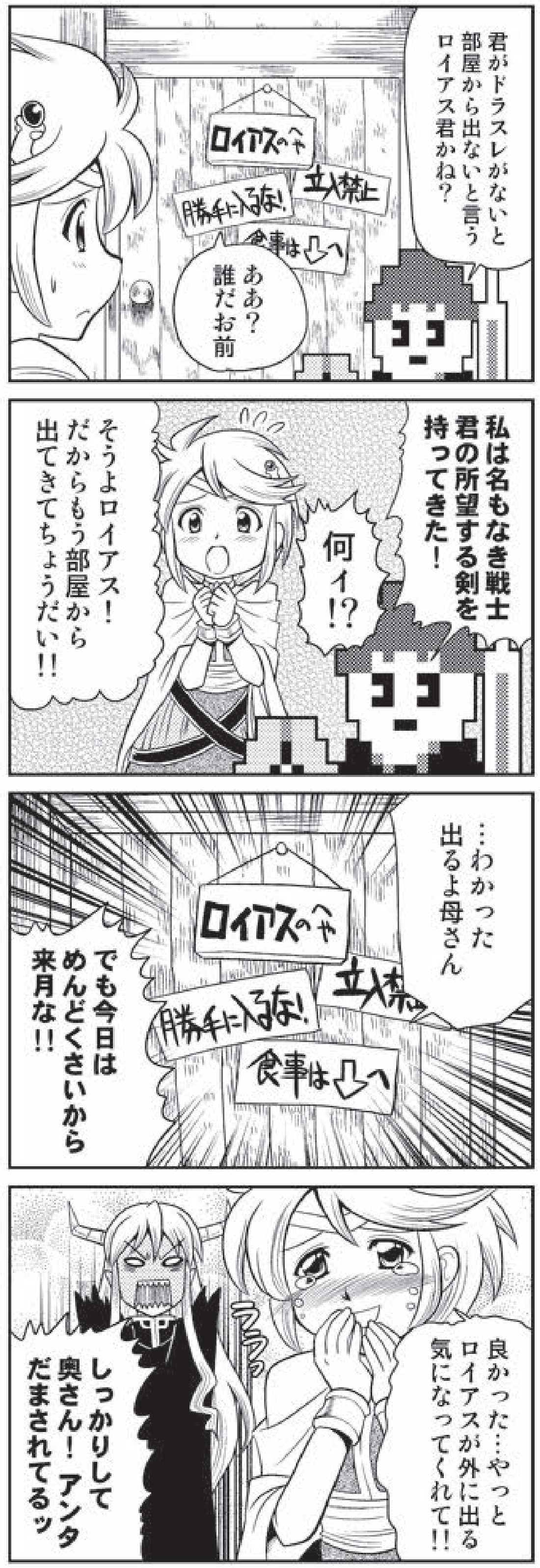
戦士の弱点



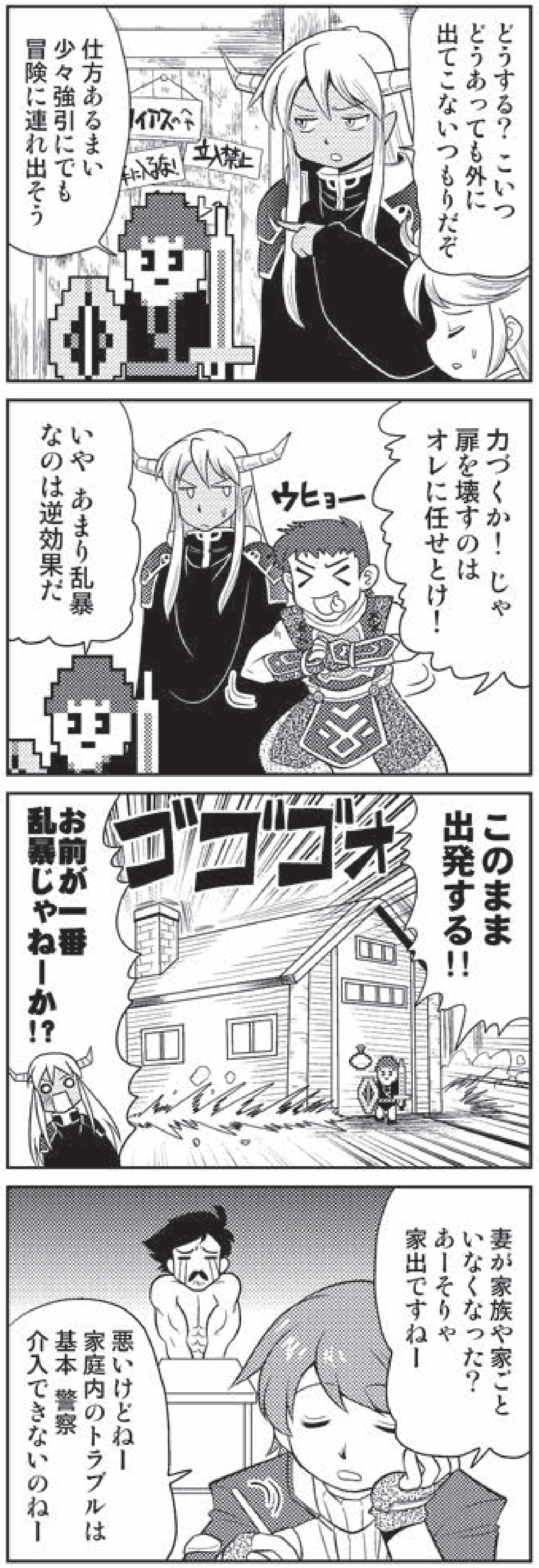
しっぽ



ロイアスが外に出る日



二人で冒険



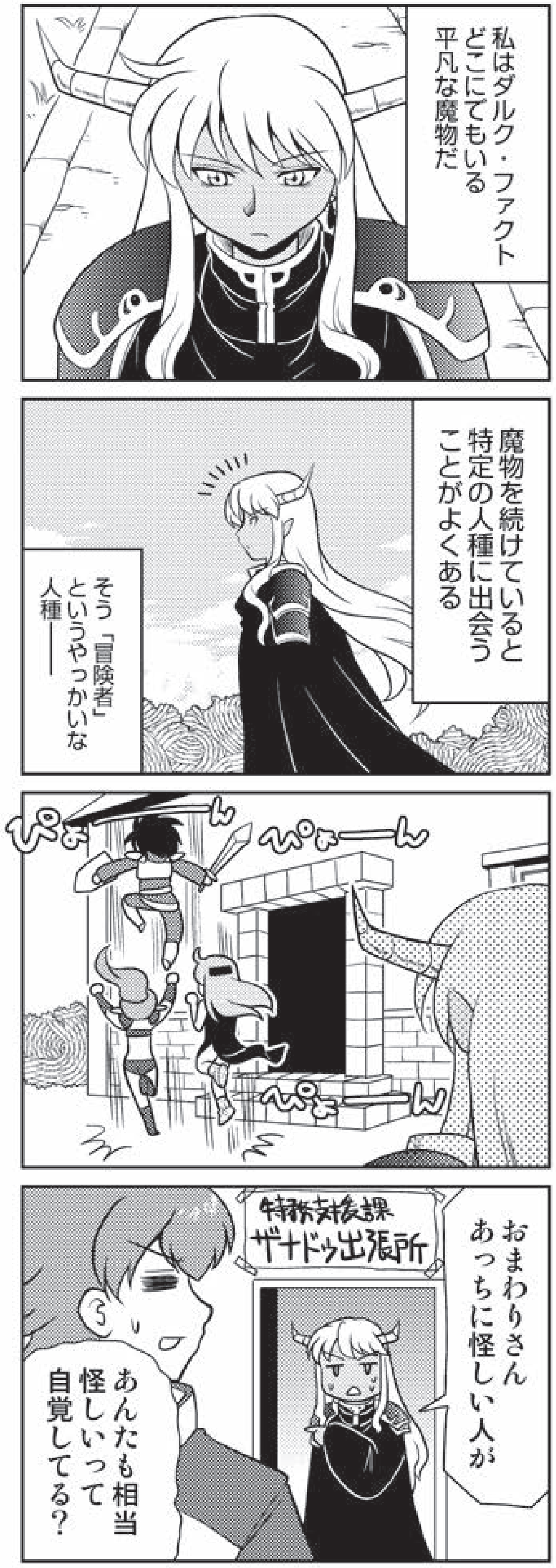
放置型ＲＰＧ

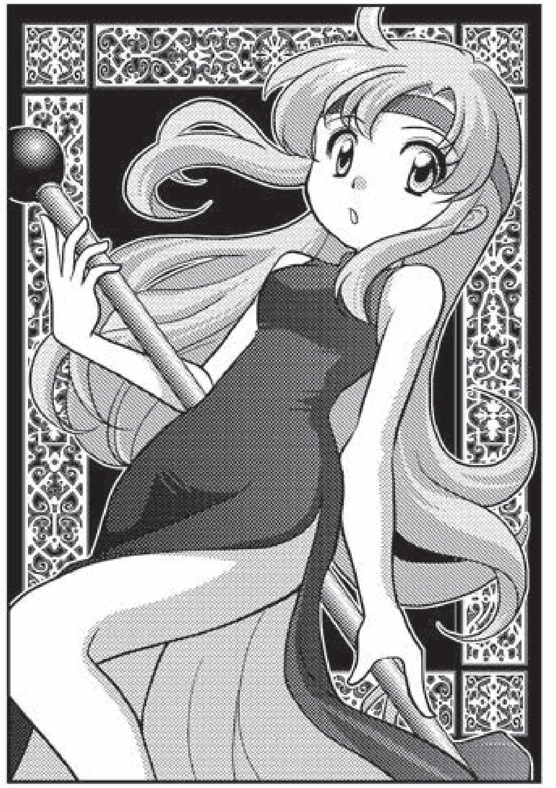


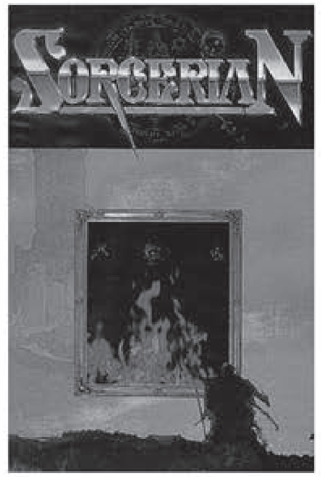
認めたくない現実



魔物と冒険者







「シナリオの数だけ世界がある」

1987年に発売されて以来、追加シナリオと拡張性のあるシステムで人気を博してきた『ソーサリアン』。
マガジンで好評連載中の「jdkバンドドラマー・オカジの人生半キャラすらし」のタイトルの元ネタはここから！

新米の証



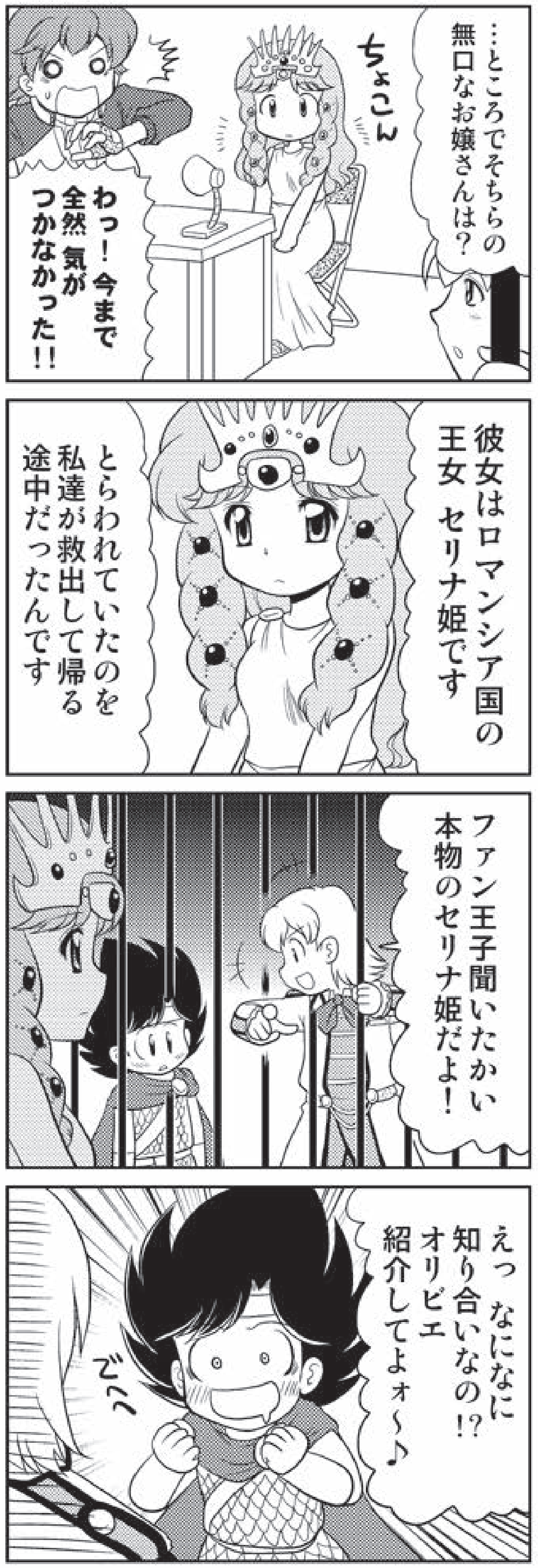
ワーキングソーサリアン



牢屋のソーサリアン



忘却の王子



脱出のソーサリアン



姫と王子



フラグ







1989年に発売された日本ファルコムの作品の中では珍しいシューティングゲーム、『スタートレーダー』。恒星間の輸送業を営むカインに少女・レフィがとある依頼を持ち寄ることから冒険が始まる。
シューティングでありながら、アドベンチャーゲームとRPGの要素も取り入れた画期的な作品だった。

ウワサの転校生



ラッピィ先生と宇宙船



スタートレーダー



女神来襲



欲望



実行




FB ファルコムBOOKS
空の軌跡外伝
レーヴェ物語
作画：楽時たらひ　脚本：田沢大典
もうひとつの
『空の軌跡』が始まる――
原作：日本ファルコム
（『英雄伝説 空の軌跡』）
価格：893円（税込）
ISBN:978-489610-224-6
『英雄伝説 空の軌跡』の人気キャラクター・《剣帝》レオンハルトの過去を描くアウターストーリーのコミカライズ。彼はいかにして《身喰らう蛇》に与みし、数奇な運命を辿ったのか。レオンハルトの目線から見たもうひとつの『空の軌跡』の物語が始まる！
©Nihon Falcom Corp. All right reserved.
全国書店にて大好評発売中!!
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら→ www.field-y.co.jp


目指せ！ファルコム一番星!!
FB ファルコムBOOKS
日本ファルコムの人気キャラクター達が繰り広げるオールスターギャグ四コマの暴走は止まらない！　まさかのアニメ化でますますヒートアップ（？）するファルコム学園に君も入学してみないか!?
アニメ化御礼！
みんな集まれ！
ファルコム学園①②
著者：新久保だいすけ
価格：893円（税込）
ISBN:978-489610-245-1
好評発売中!!
©Nihon Falcom Corp. All right reserved.
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら→ www.field-y.co.jp

『零えぼ』キャラアニ限定版でしか聴けない
あのドラマＣＤのシナリオが読めちゃう！

『みにどらまざんまい』シナリオ特別掲載!! 第２弾!

ストーカーの捜査依頼!!
ボクとアニキの７日間戦争



「ファルコムマガジンvol.31」の好評を受け、今号も第２弾として『零えぼ』のキャラアニ限定版に同梱されたミニドラマ集『みにどらまざんまい』のシナリオを掲載！今回はシュリに初めて声がついた「ストーカーの捜査依頼!!」と、ロイドとガイがまさかの再会を果たす「ボクとアニキの７日間戦争」の２本だ。

■零の軌跡 Evolution 特典オリジナルドラマCD 『みにどらまざんまい』

4．ドラマ版　ストーカーの捜査依頼!!

【登場人物】
ロイド・バニングス
エリィ・マクダエル
ティオ・プラトー
ランディ・オルランド
リーシャ・マオ
イリア・プラティエ
シュリ・アトレイド

□アルカンシェル（昼）

タイトルコール

リーシャ　「ドラマ版・ストーカーの捜査依頼」

ランディN「創立記念祭のまっただ中、オレたちのところに、ストーカーの捜査依頼が入った。アルカンシェルのトップスター、イリアさんに付きまとう男がいるらしい。まったく許せねえな。この特務支援課ランディ様が、お灸をすえてやろうじゃねーか」

アルカンシェルにて、事情を聞いている特務支援課メンバー。
イリアは、なぜかロイドにベタベタしている。

イリア　「(色っぽく) はぁ……あたしはまったく気にしてないのに、周りが慌てちゃって。実害はないんだから、放っておけばいいのにね?」

ロイド　「あ、あはは……そういうわけにはいきませんよ」

リーシャ　「そうですよ、こういうのは早く解決したほうがいいです、イリアさん!」

イリア　「もー、リーシャは神経質なのよ。(囁き) ねえ、弟君?」

ロイド　「わあ!　耳元で囁かないでください!」

イリア　「も〜。つ・れ・な・い」

ロイド　「そ、そんなに、くっつかないでください」

いちゃいちゃしているイリアとロイドに、呆れているエリィ・ティオ・ランディ。

エリィ　「何かしら、この光景……」

ティオ　「べったりですね」

ランディ「ロイド！　羨ましすぎるぞ！　早く離れろ！」

ロイド「俺に言われても……！」

イリア「今日はせっかくの休演日なんだから、ゆっくりお茶でもしながら、弟君から舞台の感想を聞きたいところなのに……」

ロイド「それは、みんなと一緒に、別の機会で……」

リーシャ「そういえば、ロイドさんは初日に観に来てくれたんですよね」

イリア「そうなのよ」

ティオ「私たちに声をかけずに観に行くなんて、よほど観たかったんですね」

ランディ「抜け駆けか……わかったぞ！　イリアさんのストーカーっていうのは、お前だろ、ロイド！」

ロイド「どうしてそうなる!!」

イリア「あら？　そうだったの、弟君なら歓迎だな～」

ロイド「イリアさんも、信じないでください！」

イリア「だって、そうだったら面白そうだなって。私に気があるなら、そう言ってよ～そうすれば、あたしとリーシャとエリィさんとティオちゃん、色んな女の子が、弟君を巡ってラブバトルを繰り広げたのにっ」

ロイド「もう……さっきから、人で遊ぶのはやめてくださいよ……」

ティオ「はぁ……。そろそろ本題に入りませんか？　ロイドさんが犯人だとして、証拠がないと逮捕できません」

ロイド「いや、だから犯人じゃないからっ」

ティオ「冗談です。信じてますよ、ロイドさん」

ロイド「ティオだけだ、そう言ってくれるの……」

ティオ「ロイドさんはストーカーなんてしなくとも、女性に困らないでしょうから」

ロイド「(涙) それ、なんか違う」

リーシャ「ま、まあまあ、目撃情報からして、ロイドさんはストーカーではないようですから……」

ロイド「あ、そうだったな。12・3歳くらいの小柄な少年だったんだっけ？」

リーシャ「ええ。最初はイリアさんの自宅周辺をうろついたり、窓から中を覗こうとしているところを目撃された程度だったんですが……どうやらここ2・3日は、家の中にも入ってきているらしいんです」

エリィ「それは、深刻な状況ね」

ロイド「エスカレートしてるってことだな……早くなんとかしよう。イリアさん、自宅に案内してもらってもいいですか？」

イリア「弟君なら、大歓迎よぉ？　なんなら、合鍵を渡してあげようか？　次からはひとりで来てくれていいのよ？」

リーシャ「ちょ、ちょっとイリアさん！」

ランディ「合鍵だとぉ！　不純異性交遊反対だロイド！」

ロイド「だからなんで俺に言うんだ！　もう、イリアさん！」

イリア「なーに？」

ロイド「からかってますよね？」

イリア「ええ、もちろん」

ロイド「はぁ……」

□イリアの自宅（昼）

【SE】鍵を開けて扉を開く音自宅に皆を案内するイリア。

イリア「さあ、どうぞ」

ロイド「お邪魔します」

ランディ「さっすがアルカンシェルのトップスター、自宅がヴィラ・レザンの最上階とは、驚きだぜ」

ティオ「この辺りでは一番の高級アパルメントなだけあります。部屋の中も素晴らしいです」

イリア「ふふ、ありがと～」

ランディ「しかし……ここでストーカーが、イリアさんの残り香を嗅いだり、イリアさんの唇が触れていそうなところにキスしたり、櫛から髪の毛一本抜き取ったりしてるんだな」

ティオ「それはランディさんの願望です」

エリィ「最低……」

ランディ「じょ、冗談だって！」

ひとり扉の鍵穴に注目しているロイド。

ロイド「これは……」

リーシャ「どうしました？　ロイドさん」

ロイド「ピッキングの痕がある」

リーシャ「え!?」

ロイド「鍵穴の僅かな傷……相当腕のいい奴が開けているな。やっぱり、部屋に侵入したのは間違いないだろう」

リーシャ「そんな……」

ロイド「とにかく、犯人の痕跡がないか、調べてみよう」

エリィ「じゃあ、部屋の中は私たちが調べるから、ラ

ンディとロイドは別の調査をしてくれるかしら?」

ロイド「いや、俺も部屋を調べるよ。ここは捜査官の腕の見せ所だし」

エリィ「(強調) 私たちが、調べるわ」

ロイド「でも……」

エリィ「ロイドはイリアさんの部屋の中禁止! ランディはもっての他! いい!?」

ロイド「ええ!?」

エリィ「返事は!?」

ロイド「わ、わかった!」

ランディ「こえー……」

ロイド「えっと……それじゃあイリアさん。アパルトメント周辺や建物の中を、案内してもらっていいですか?」

イリア「ええ、いいわよ」

ロイド「それじゃあ頼んだぞ、エリィ、ティオ」

ティオ「お任せください」

□イリアのアパルトメント・玄関（昼）

【SE】階段を降りる音

ロイド「確か、リーシャとイリアさんは犯人を見たことがないんだよな?」

リーシャ「はい、そうです」

ロイド「目撃情報はどこから?」

リーシャ「ここの管理人さんからです。あの方は、お掃除とか観葉植物の手入れが趣味のようで……メイド服を着てアパルトメントの中を歩き回ってますから」

ロイド「へ、へえ……変わってるな。他に見たって人はいないんですか?」

イリア「そういえば、聞かないわね」

ロイド「そうですか……」

【SE】ソファに座る音

ランディ「ふぅ……。ってことは、犯人は目撃されないようにかなり警戒して侵入してきてるってことか。お、このソファすっげー座りごこちいいな」

ロイド「ランディ、仕事中だぞ」

ランディ「いやいや、ここに座ってれば、もし今ストーカーが玄関から入ってきても、すぐ対応できる

だろう?」

ロイド「そうかもしれないけど……」

イリア「ふふ、そこはいつも1階のお婆さんが座って編み物をしているって聞いたから、来たらどいてあげてちょーだいね」

ランディ「へーい」

ロイド「え? それって……」

リーシャ「……ロイドさんも気付かれましたか?」

ロイド「ああ……管理人さん以外目撃者がいないということは、もちろんお婆さんも見ていない。つまり、犯人は玄関を使っていないということになる」

リーシャ「この建物には、裏口があります」

ロイド「なら」

最上階から、エリィの大声が聞こえてくる。

エリィ「(遠くで) 待ちなさい!!」

ロイド「……え!?」

シュリ「(遠くで) ……くっ、捕まるものか!!」

ランディ「な、なんだあ!?」

ロイド「(駆け出す) しまった、鉢合わせたか……!」

ロイドは裏口に向かう。

【SE】バタバタという足音

エリィ「(最上階から) ロイド、ランディ! ストーカーよ!!」

ティオ「(最上階から) 階段で、下に降りて行きました!!」

ランディ「マジか!?」

【SE】走る足音

階段の下に急いで移動するランディ。

ランディ「ん!? 誰も降りてこねーぞ!?」

リーシャ「ランディさん、裏口です! ロイドさんが、すでに向かわれました!」

ランディ「なるほど! ガッテン承知だ!」

【SE】走り去る足音

リーシャ　「イリアさん、万が一のために、安全な場所に避難を……」

ところが、イリアがどこにもいない。

リーシャ「あれ!?　イリアさん、どこ行ったんですか!?」

□イリアのアパルトメント・裏口（昼）

【SE】裏口の扉の音（ガシャン）

裏口から出てくるシュリ。

シュリ　「へっ、このオレが、そう簡単に捕まるかよ」

ロイド　「そう甘くは行かないぞ！」

シュリ　「な……！」

ロイド　「この！」

捕まえようとするロイドだが、シュリにジャンプしてかわされてしまう。

シュリ　「うわ！　っと!!」

【SE】ジャンプする音

ロイド　「な！」

【SE】着地の音

シュリ　「あっぶね」

ロイド　「すごいジャンプ力だな。なるほど、だからエリィとティオから逃げだせたのか」

シュリ　「はんっ感心してる場合かよ。つまりオレは、お前から逃げだすのだって、朝飯前なんだぞ？」

ロイド　「ああ、俺ひとりだったら無理だろうな、だが」

ランディ「ふぃ～やっと到着だぜ」

シュリ　「あ……！」

ランディ「さ、これで挟み撃ちだ」

【SE】駆け寄る足音

エリィ　「大人しく降参しなさい！」

ティオ　「これで4対1です」

シュリ　「くそ……！」

【SE】駆け出す足音

ロイド　「逃がすか……！」

シュリを捕まえて、羽交い絞めにするロイド。

シュリ　「わ……！　くそ……！　このやろう！　離せ、離せよ！」

ロイド　「そういうわけにはいかない。君の行為は犯罪で……」

シュリ　「この……この！」

逃れようと暴れまくるシュリ。

ロイド　「イタ！　こら、腕を振り回すな！」

いつの間にか外に出ていたイリアが、ロイドとシュリに近寄ってくる。

イリア　「へえ……君がストーカーだったわけか」

シュリ　「……っ!?　イリア・プラティエ！」

ロイド　「ちょ……！　ちょっとイリアさん！　危ないですよっ！」

イリア　「大丈夫でしょ。弟君が羽交い絞めにしてくれてるし」

ロイド　「でも……」

シュリ　「くっそおお！」

ロイド　「イタタタタ！」

ランディ「はは、こいつはまた、活きのいいのがかかったな」

イリアにやっと追い付くリーシャ。

リーシャ　「はぁ、はぁ、もうイリアさん。ひとりでウロチョロしないでくださいよ」

イリア　「ごめーん。弟君たちの活躍を見てみたくって」

シュリ　「離せ……！　離せよこのおお！」

ロイド　「だああ、いい加減大人しくしろ！」

ロイドがまだ羽交い絞めしているシュリの顔を覗きこむイリア。

イリア　「キミ、どうしてあたしに付きまとってたの？」

暴れるのをやめて、イリアを睨むシュリ。

シュリ　「あんたなんて……」
イリア　「ん？」
シュリ　「あんたなんて、大っきらいだ！」
イリア　「……へえ？」
シュリ　「綺麗な舞台に立って、すごい世界を演じて、キラキラ……輝いてる。ゴミ溜めみたいな街で生きてきたオレは……死ぬまで働いたってアルカンシェルのチケット一枚分も稼げねえ。オレには死ぬまでかけたって絶対届かない場所で生きてるあんたに、嫌がらせしてやろうと思ったんだよ……こいつらのせいで、できなかったけどな！」
リーシャ　「まさかこの子、スラム街の出身……？」
ティオ　「そのようです……」
シュリ　「お前らみたいに、毎日金と食事に困らないで、のうのうと生きてる人間には、オレの気持ちなんてわからないだろうなっ」
イリア　「……それが、理由ね」
シュリ　「そうだよっ」
ランディ　「（同情）そうだったのか……」
イリア　「ま、どんな理由があるにせよ、ケジメはつけてもらわないとね」
ロイド　「イリアさん？」
イリア　「あたしはイリア・プラティエ。あんた、名前はなんていうの？」
シュリ　「……シュリだ」
イリア　「了解。シュリ、あんたはしばらく劇団で下働きしなさい」
シュリ　「え……!?」
イリア　「さっき弟君をかわしたジャンプ、見せてもらったわ。それに……もうちょい筋肉が欲しいとこだけど……あんたの体を見る限り、なかなか素質がありそう。鍛えれば、あたしやリーシャとも並ぶアーティストになれるかもよ？」
シュリ　「え……えええっ……!?　な、なんでオレが!!」
イリア　「ま、そういうことだからウチに来てもらうわよ？　あんたに選択権はなーい！」
シュリ　「う……っ」
ロイド　「つまり、無罪放免ってことですか？」
イリア　「ごめんねー。せっかく捕まえてもらったのに」
ティオ　「やれやれですね。まあイリアさんがそうおっしゃるなら」
ロイド　「そうだな」
イリア　「フフン、これで弟君争奪ラブ・バトル候補も増えるわねー？」
ロイド　「はい!?　またその話題ですかっ。それに何言ってるんです？　シュリは男でしょ？」
シュリ　「やっぱり……勘違いしてやがるのか……」
ロイド　「え？」
シュリ　「オレは女だ……！　いつまで羽交い絞めにしてるつもりだ!!」
ロイド　「えええええええ……!?」
ランディ　「……そういや、カワイイ顔してるか」
リーシャ　「シュリちゃんは、どこから見ても女の子だと思いますけど」
ロイド　「あ、え、えっと……！　今すぐ離すよ!!」
シュリを解放するロイド。
【SE】軽く着地の音
シュリ　「ふん、だからずっと、離せと言っていたんだ」
ロイド　「ごめん……どう考えても、男の感触だったっていうか……」
シュリ　「……!?」
ロイド　「あ……」
エリィ　「何感触を味わってるのよ……」
ティオ　「ロイドさん、問題発言ですね」
ランディ　「……罰を受けるがいい」
シュリ　「こっの！　空の彼方までっ！　吹っ飛べぇぇええ！」
【SE】鉄拳を喰らう音
ロイド　「ぐはああああ！」
吹っ飛ぶロイド。
イリア　「ふふっ、照れちゃって可愛いわね、シュリって」
リーシャ　「イリアさん……なんでも色恋沙汰にして面白がるの、もうやめません？」

了

■零の軌跡Evolution 特典オリジナルドラマCD『みにどらまざんまい』

6．ボクとアニキの7日間戦争

【登場人物】
ロイド・バニングス
エリィ・マクダエル
ティオ・プラトー
ランディ・オルランド
キーア
ガイ・バニングス

□特務支援課（昼）

タイトルコール
ロイド・ガイ「ボクとアニキの7日間戦争」
キーアN「ここは特務支援課っていう、ロイドたちのお仕事の……えーっと、拠点ってところだよ！ あ、ロイドがソファでお昼寝しちゃってる！ キーアが起こしてあげなくちゃ」
ガイ「いや、ここは俺に任せてくれ」
キーア「あれあれ？ お兄ちゃん、だ〜れ？」

ソファでうたたねをしてしまっているロイド。

ロイド「（寝息）」
ガイ「おい、ロイド」
ロイド「う、うーん？」
ガイ「こんなところで寝ていると、風邪をひくぞ」
ロイド「え……!? 兄貴!?」

【SE】飛び起きる音

ガイ「やっと起きたか。疲れてるとはいえ、ちゃんとベッドで寝ろよ」
ロイド「ご、ごめん……」
ガイ「まったく、仕方がないな」
ロイドM「兄貴が、特務支援課にいる……？ そうか、これは夢か」

ふたりのところに、支援課メンバーがよってくる。

キーア「あー！ ロイドが起きた〜！」
ロイド「ああ、おはよう、キーア」
ティオ「せっかくガイさんが来てるのにうたた寝なんて、もったいないことをしていましたね」
ロイド「あはは……ごめん」
エリィ「でもよかったわねロイド。お兄さんが生き返って！」
ロイド「え？ 生き返った!?」
ガイ「ああ、実はそうなんだ」
ロイドM「そういう設定の夢なのか……？」
ガイ「現世で正義のために戦えと、聖なる大樹の啓示を受けて、再び地上に舞い降りたんだ」
ロイド「はい？」
ガイ「俺にはこれから、聖戦に向かうという運命が待っている」
ロイド「どんな厨二設定だよ、兄貴！」
ランディ「まさか噂のガイ・バニングスに会えるとは……奇跡みたいなことが、起こるもんなんだな」
ロイド「いやいやいやいやいや！ いくら夢とはいえ、ありえないからっ」
ガイ「何を言ってるんだロイド。これは夢なんかじゃない。ちゃんと現実だ。これから俺はエイドスの導きのもと、世界を救う勇者になる」
ロイド「兄貴の発言が余計現実味なくしてるから！ きっと頬をつねったら、痛くないに決まって……」

【SE】頬つねる音

ロイド「あれ……？」
ロイドM「な、なんでだ！ 痛い……！」
ロイド「き、キーア！ お願いだ」
キーア「なーに？」
ロイド「俺の頬を思いきりひっぱたいてくれ！」
キーア「わかった〜！ てい!!」

【SE】頬をひっぱたく音

ロイド「いった！ 痛い！ なぜだ！ 夢なのに！ ……エリィ！」
エリィ「な、何？」

ロイド「俺に関節技をきめてくれ！」

エリィ「今度は私……っ？　こ、こう？」

【SE】関節技をきめる音（ぎりぎり）

ロイド「い、イタタタ！　そんな、どうして……こんなこと、夢じゃなきゃあり得ないのにっ」

ガイ「いい加減現実を受け入れろ。俺が蘇ったのは、世界の理なんだからな」

ロイド「（ショック）そ、そんな……こんな厨二病っぽい兄貴が、現実だなんて」

ガイ「俺には、この世界でやり残したことがあるんだ……」

ロイド「え……？」

ガイ「大切な女に誓ったことを、やり遂げずに逝っちまうなんて、情けない……」

ロイドM「大切な女……それってセシル姉のことか？」

ガイ「俺は、ティオに一度もバーチャルゲームで勝ったことがない！」

ロイド「はぁ⁉」

ティオ「ふふ。久々にやりますか、ガイさん」

ガイ「おう！　ゲー友だったお前に、いつか勝つと誓ったからな……！」

ロイド「えええええ⁉」

ランディ「ゲーム友達……ふたりって、そういう関係だったのか」

エリィ「ロイドのお兄さんって……オタクだったのね」

ロイド「違うんだ！　兄貴はこんなんじゃない！　やっぱり何かの間違いだ～！」

ティオ「バーチャル空間を展開します……！」

【SE】アーツ発動の音

ロイド「え？　う、うわぁあ！」

□バーチャル空間・洞窟（昼）

【SE】シュン、という瞬間移動みたいな音

いきなり洞窟の中にいて、驚いているティオ・ガイ以外。

ロイド「え……な、なんだ？　ここは……洞窟？」

ティオ「移動はしていません。今皆さんに見えているのは、バーチャルシューティングゲーム、ゴースト・バスカレードのバトルフィールド映像です」

エリィ「えっと……つまり？」

ガイ「このゴーバスは、ユーザーの感覚に働きかけ、本当に戦っているように錯覚させるシステムを使ってるんだ。すごいだろ？」

ロイド「だ、だめだ……さっぱりわからない」

ティオ「まあ、ゲームと思わず、仮想モンスターとの実戦訓練だと思っていただければいいと思います」

ガイ「ちなみに、武器はライフルのみ使用可能だ。男は黙って、ライフルだろ！」

ロイド「兄貴からそんな言葉、聞いたことないよ」

ランディ「今のゲームって進んでるんだな」

ロイド「……適応能力高いな、ランディ」

エリィ「ねえ、ティオちゃん……さっきゴーストって言ってたけど……敵は幽霊なの？」

ティオ「はい、そうです」

エリィ「（おばけ苦手）……そ、そう」

キーア「とにかく、みんなで遊ぼうってことだよね～！」

ティオ「キーアはかしこいですね。その通りです」

ロイド「って、ちょっと待ってくれ！　なんでキーアまで巻き込んでるんだ！　これから戦うんだろう⁉　危ないじゃないかっ」

ティオ「まぁ、ゲームですし。それにキーアだけ仲間外れにするのはどうかと思いまして……」

キーア「そうだよ、ロイド！」

ロイド「その前に、ティオと兄貴が決着つけるなら、ふたりだけでゲームをすれば良かったんじゃないか⁉」

ガイ「このゲーム４人以上じゃないと、プレイできないんだよな」

ロイド「勝手すぎる‼」

ティオ「む……っ」

【SE】おどろおどろしい音

ガイ「お、敵のお出ましだ」

ティオ「それではガイさん。以前同様、１万ポイント先取したほうが勝ちということで」

ガイ「ああ……！」

ティオ「では、スタート！」

【SE】駆け出す音

ロイド「え、ちょ、ちょっと？」
ガイ「うおおおお！」
ティオ「はあああ！」
【SE】銃撃戦の音
ガイ「ふ……！　相変わらずいい腕だな、ティオ」
ティオ「そちらこそ、天国に行ってらしたのに、腕はなまっていないようですね」
ガイとティオの激戦を、ぼーぜんと見ているロイド。
ロイド「すごい……敵が攻撃する間も与えず、撃破してる」
ガイ「ぼさっとしてるなロイド！　そっちにも敵がいったぞ！」
ロイド「え!?」
【SE】おどろおどろしい音
キーア「わわ、幽霊がいっぱいだ～！」
ロイド「危ないキーア！　この……っ！」
【SE】発砲の音
【SE】ゴーストが消滅する音（シュウウウ）
キーア「わー、ありがとーロイド」
ロイド「はは……どういたしまして」
【SE】おどろおどろしい音
ロイド「く……慣れない武器でこの数は辛いな、二十はいる……！　エリィ、ランディ！　手を貸してくれ！」
端っこのほうで縮こまっているエリィとランディ。
エリィ「ご、ごめんなさい……無理」
ロイド「って……なんでふたりとも、そんなすみっこに座りこんでるんだ？」
ランディ「わりーなロイド。オレはライフルじゃ戦えねーんだわ」
エリィ「（震えて）おばけ怖い……おばけ怖い……おばけ怖い……」
ランディ「お嬢もこんな感じだし、ロイドひとりで頼むー」
ロイド「ええええ!?」
【SE】ゴーストが素早く通りすぎる音
ロイド「う、うわっ！」
襲いかかってくるゴーストを、なんとかかわすロイド。
次から次へとゴーストが迫ってくる。
キーア「ロイドー！　どんどん増えるよー!!」
ロイド「だあああああ！　もおおお！　こうなったらヤケだああ！」
【SE】銃連射の音（ダダダダッ）
困っているロイドにおかまいなしで、自分達のポイントを稼いでいるガイとティオ。
ガイ「よっしゃ！　ポイント倍増アイテムゲット！」
ティオ「むむっ、ピンチですっ」
ロイド「どうでもいいから、早く決着つけてくれ～」

×　×　×

なんとかゴーストの波が終わり、少し休憩できる時間ができる。
【SE】銃をリロードする音
ティオ「攻撃がやみましたね」
ガイ「ああ、第二波まで、少し休めそうだ」
ロイド「はあ、はあ……」
キーア「ロイド～大丈夫？」
ロイド「あ、ああ……なんとか」
ガイ「疲れたか？」
ロイド「さすがにね。兄貴は余裕だな……」
ガイ「そりゃ年季が違うからな。お前だってやりこめば、俺レベルになるぞ！」
ロイド「簡単に言ってくれる。俺が兄貴に追いつくとか、どれだけ頑張れば……」
ガイ「なんだ、えらく弱気だな」
ロイド「そりゃ……ゲームだけじゃなくて、色んなことがそうだからな」

ガイ　「はは、何言ってんだ」

ロイド　「笑いごとじゃないって」

ガイ　「そうか？　お前の仲間たちも、それ聞いたらおんなじように笑うと思うけどな」

ロイド　「え？」

ガイ　「キーアだっけ？」

キーア　「うん、キーアだよ」

ガイ　「ゴーストいっぱいで、怖いか？」

キーア　「うーん……ロイドがいるから、そうでもないよっ」

ガイ　「はは、そうか。だってよ、ロイド」

ロイド　「キーア……」

ガイ　「ティオだって、お前がキーアを守ってくれるってわかってるから、俺との対決に集中できるし……他のふたりも、そう思ってるから、お前に任せてるんだろ」

ロイド　「そう、かな？」

ガイ　「そうだろ。しばらく現世を離れてた俺がそう思うんだから。……お前は、よくやってるよ」

ロイド　「兄貴……」

ガイ　「その調子で、お前らしくこれからもやってけよ。仲間と一緒にな」

ロイド　「ああっ」

ガイ　「いい返事だ。それでこそ俺の」

【SE】連続発砲の音

ティオ　「スキル発動。迎撃します」

ガイ　「なっ！　ティオ!!　抜け駆けはずるいぞ！」

【SE】走り去る音

ロイド　「ちょ、兄貴!?　最後何を言いかけたんだ!?」

【SE】銃撃戦の音

ガイ　「おりゃあああ！」

ロイド　「って、もうゲームに夢中だしっ」

キーア　「ロイド、危ない！」

ロイド　「え？　あ……っ」

【SE】おどろおどろしい音

いつの間にかゴースト集団にかこまれているロイド。

ロイド　「しまった！　囲まれた!!　このっ！」

【SE】空砲の音・連続（カチカチ）

ロイド　「え!?　弾切れ!?」

キーア　「ロイド～！」

【SE】おどろおどろしい音

ロイド　「わあ！　来るな！　来るな～！　あ、兄貴！　兄貴！　このゲーム、弾の補充ってどうやるんだあああああ！」

□特務支援課（昼）

うなされているロイドの周りに集まっている、キーア・エリィ・ティオ。

ロイド　「うーん、うーん」

キーア　「やっぱり、ダメみたい～」

ティオ　「キーアが思いっきり乗っかっても、ダメですか」

ランディがその様子をのぞきこんでくる。

ランディ　「みんなして何やってんだ？」

エリィ　「ああランディ。みんなでロイドを起こしてるんだけど、全然起きなくて……」

キーア　「ロイド～こんなところで寝たら、風邪ひいちゃうよ！」

ロイド　「うーん……うーん」

ランディ　「なるほどな。キーアがロイドの上に乗ってるのは、起こそうとしてるのか」

ティオ　「はい。あと頬をつねったり、ひっぱたいたり、エリィさんに関節技決めてもらったり、氷を背中に入れたりしたんですが、全く効果なしです」

ランディ　「げ……」

ロイド　「うーん、うーん……」

エリィ　「一体どんな夢を見てるのかしら、こんなにうなされて、かわいそう」

ランディ　「……多分、うなされてるのは、お嬢たちのせいだと思うぞ？」

ロイド　「兄貴、兄貴ぃ……」

了

FB ファルコムBOOKS

英雄伝説 零の軌跡

午後の紅茶にお砂糖を

著者：むらさきゆきや
イラスト：窪茶



日本ファルコムの大ヒットＲＰＧ『零の軌跡』・『碧の軌跡』の主人公【特務支援課】の日常は意外とまったり!? 本編とは一味違った彼らのゆる〜い毎日を描いて『月刊Falcommagazine』で大人気を博したノベライズがついに単行本で登場！

12月6日発売!!

価格：1,155円（税込）
ISBN：978-4-89610-255-0

発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら→ www.field-y.co.jp

FB ファルコムBOOKS

英雄伝説 零の軌跡

四つの運命

著者：田沢大典　イラスト：松竜



特務支援課はここから始まった!!

日本ファルコムの大ヒットＲＰＧ『英雄伝説 零の軌跡』から、ロイドたち特務支援課の過去エピソードを描いたオフィシャルノベライズ。ゲーム本編では語られなかった名シーンの裏側やキャラクターそれぞれの心情が今、明らかになる！

原作：日本ファルコム
（『英雄伝説 空の軌跡』）

価格：1,155円（税込）
ISBN:978-489610-215-4

全国書店にて大好評発売中!!

発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら→ www.field-y.co.jp


よくぞ このダンジョンにこられた
そなたの勇気を見込んで頼みたいことがある
わしの代わりに王様の杖を見つけだしてもらいたいのだ
啄木鳥しんき
ファルコム大好き!


しぬでないぞ
『リーサリアン』 色々な機種で遊んだけど.基本は二段ジャンプ完備PC88SR版Ver1.1(笑)。
それぞれ特徴のある 独立した15本のシナリオの 練り込まれたマップ構成や謎解きさ.
完成された美しいドット絵の世界の中で. 胸踊る 心地よい音楽を堪能しながら.
何度も楽しめる 贅沢なアクションRPG。
…大好き。

人生楽キャラずらし

jdkバンドのドラマー・オカジがファルコムと音楽と人生について熱く語ります！



「暁の大国」（ミュージック・フロム・ブランディッシュ3）

現在、大阪でのレコーディングを終え、東京に戻る新幹線の中、このコラムを書いている。レコーディングというのは、何を隠そう、碧の軌跡Evolutionの主題歌だ。今回はなんと、僕が主題歌を担当する事になったのである。

ちなみに主題歌の原曲となっているのも勿論、碧の軌跡のゲーム中に流れる楽曲の一つだ。マクガイア神藤さんからは、「え!? この曲を主題歌にするの？」と言われてしまったが、中々に……いや、かなりかっこよい楽曲に仕上りつつあるので、是非とも楽しみにして頂きたい。この主題歌については、まだまだ制作途中という事もあり、今回はこの曲の事は置いておいて、先日の出来事を書きたいと思う。

先日、友人のギタリスト、平松俊紀さんと、共通の知り合いの家に遊びに行った。平松さんは猛烈なファルコムオタクという事もあり、行き帰りの車中も当然の事ながら、ファルコムトークに花が咲く。今回の議題は「ブランディッシュ3」というゲームについてだった。

僕に、世界中で一番好きなゲームは何か？ と問われれば、即答で「ブランディッシュ」と答える。あの中毒性、世界観、グラフィック、音楽、そのどれをとっても僕の中ではナンバーワンだ。だが、僕は2まではプレイしているものの、その後続いた「ブランディッシュ3」、「ブランディッシュVT」はプレイしていないのだ。ある程度、ゲームの概要や、音楽については知っているものの、まだまだ未知の大陸は拡がっているである。また、あまりに好きなゲームすぎるので、なんだかもったいなくて続編をプレイできていないというのも事実。自分にとって一番大切なゲームの新作は、幕の内弁当のメインディッシュを最後に取っておいてしまうような心境なのである。



平松さんは、今年に入ってから、PC98を復活させてしまったらしく、今年はブランディッシュ3ざんまいだったようだ。そんな彼からすれば、ブランディッシュ3はシリーズ最高傑作だと言う。キャラクターの攻撃や操作性、グラフィック、そしてマップのトラップのすべて作りこみ、そしてFM音源で作られた音楽の完成度……それらの全てが洗練の域に達しているのだと。

車中でのBGMは当然の事ながら、ブランディッシュ3のサントラ版だ。確かに、今改めて聴くと、あまりに凄い。FM音源の音楽の限界に達したウルトラハイクオリティーな音楽の連続だったのだ。

僕はどこかで、「いや、ブランディッシュは1&2の時点で完成作だろう」という原理主義的な思想があったのかもしれない。平松さんが3について熱く語れば語るほど、僕は改心……いや、回心せざるを得なかった。僕が好きなのはブランディッシュ1&2だけなのではなく、「ブランディッシュシリーズ」なのだと。

……そして、決意した。今回の碧えぼの仕事が落ち着いたら、ブランディッシュ3をプレイしようと。

こちらのプレイの様子は僕のツイッター、もしくは実況プレイ動画で放送するなんていうのも面白いかもしれない。いや、まだファルコムさんに確認取ってないから、そういう事をここで書くのもアレなんだが（笑）。

さてさて、そんなわけで、今回はこの「ブランディッシュ3」のサントラから、こちらの楽曲をご紹介したい。

「暁の大国」（ミュージック・フロム・ブランディッシュ3）

やはり、オープニングとなっているこの楽曲を聴けば、どれだけ壮絶な技術で作られた楽曲であるのかはお分かり頂けるだろう。FM音源でこの音像なのである。僕も、仕事の合間にこの楽曲を聴きながら、まだまだ拡がっている「ブランディッシュ」という未知の大陸に想いを馳せたいと思う。

今回もすごく大袈裟にお届けさせて頂きました。それではまた次回、お会いしましょう！



岡島俊治（Okaji）

1979年6月9日生まれ
ドラマー/パーカッショニスト/作曲、編曲家/プロデューサー
洗足学園短期大学器楽科打楽器専攻卒業。
2000年、ロックバンド『HeadPhonesPresident』のドラマーとしてデビュー。
2005年、同バンド脱退後はフリーミュージシャンとしての活動を開始。様々なアーティストのサポート、レコーディング、プロデュース等を行う。
2008年より『ファルコムjdkバンド』に参加。
主な共演歴：jdk BAND、Sixh.Opera、HeavensDust、野宮真貴、植村花菜、CORE OF SOUL、DENIAL、安藤禎央、清田愛未、中村幸代、一純悠人、momokomotion、越尾さくら…etc

「ミュージック フロム ブランディッシュ３」
■製品紹介 「ブランディッシュ３」全曲完全収録！超豪華３本立て！
○オリジナル・ゲーム・サントラ(56曲)
○新録キャラクターテーマ曲(4曲)
○J.D.K.バンド アレンジ曲(4曲)
■収録曲 (全64曲)
■価格 iTunes配信価格……3,000円(税込)

[iTunes配信情報]
ファルコム楽曲4,227曲をiTunesで世界111ヶ国に配信中。
(ファルコム楽曲はすべて高音質化、DRMフリーが適用されたiTunes Plusでの配信となります)

≪Falcom jdkバンドライブ特設サイトURL≫
http://www.falcom.co.jp/jdk/index.html

コテ放題

コテカナことjdkBANDボーカル小寺可南子が
ゲームと共に、好き放題な日々のことを描くコラム!!

第11回　激動のコテラカナ

▶PROFILE



日本ファルコムのゲームソングを奏でる専属バンド"jdkBAND"のボーカル。webラジオ「ファルコムラジオ"めんどくさいです…でもがんばります"」では声優水橋かおりさんと共にパーソナリティをつとめる。その他CMソング、ジングルなど活動は多岐に渡る。
twitter @cana_ko_tera

ハイッ！　まいどドウモですコテカナです！　ハイッ！　碧の軌跡やってますけどね、もう！　この記事を書いてる時間すらも気が気じゃないくらい、ストーリーの展開がヤバイんですけど！　なんやのもう!!　やめてっ!!　……思い返せば、先月のインターミッションでの女性陣の水着姿にホワホワしつつも、なんだか不穏な空気は感じていたのですよ……。嫌な予感してたんです……。鬼編から「4章の頭までやれば、ふふ……」という謎なメッセージを受けていたのですが、これは、もう、止めどころがわからん！　眠られへんやんか～!!　特務支援課のみなさんにここ最近毎晩うばわれてる私の睡眠時間を取り返す支援を要請したいくらいです!!(・ε・`)

フッフッフッ……碧はこれからノンストップですよ……







ティオのファルコムラジオ めんどくさいです…でもがんばりますの舞台裏

2011年10月から好評配信中のWEBラジオ『ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります』の舞台裏をこっそりお届け♪

ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります
■配信日　毎週金曜日、公式HP、ランティスラジオ、ニコニコ動画にて更新。
■メインパーソナリティ　水橋かおり（『碧の軌跡』ティオ・プラトー役）　小寺可南子（『ファルコムjdkバンド』ボーカル）
■公式ホームページ　http://www.falcom-radio.com/

第106回-第108回　金元寿子（『閃の軌跡』フィー・クラウゼル役）

106-108回のゲストは前回に引き続き『閃の軌跡』のキャストからフィー役の金元寿子さんが登場。フィーそして、パーソナリティの水橋かおりさんが演じるティオは、「めんどくさい」が口癖のキャラということで、ふたりの似ているところ、違うところという点にクローズアップして、トークコーナーが繰り広げられていった。また、「ファルコムミュージックライブラリ」のコーナーでは、支援課見習いのガチくんのテーマが『ZWEI Ⅱ』の「覆面超人ギャランドゥ」に決定。さらにガチムチに磨きがかかる……のか？

▶第106回-第108回の舞台裏◀

毎回ホームページでも写真がアップされている「差し入れ」。もはやラジオが始まったときにコテさんがモグモグしているのもお約束（？）になっているように、おやつと言うよりはご飯と言った方が相応しいラインナップばかり。中でも一番人気は、「天むす」だ。

第109回　なし（ファルコムミュージックライブラリスペシャル）

109回はファルコムラジオのコーナーの中でも特に人気の高い、ファルコムの音楽をとことん聴かせる「ファルコムミュージックライブラリ」をまるまるやっちゃおうというスペシャル回。コテさんが歌う「I swear…」のほか計6曲が紹介された。中でもミズさんが食いついたのが、１９９１年に発売された「PROVINCIALISM Ys」（ファルラジミックスVer.）。まさかのハウスアレンジというファルコム音楽の懐の深さに驚き、「一枚まるまる聴いてみたい！」と大興奮の様子だった。

▶第109回の舞台裏◀

毎月末に発表する、今月もっとも面白かった投稿を決める「MVL」。これはMVLに選ばれるとパーソナリティ４人の描いたイラスト色紙がもらえるというものだが、イラストが完成するのはまさに選んだ日の収録後！　このイラスト作業が毎月末の恒例行事になっているのだ。

今月のコテガキ

毎週更新とともに発表される、小寺さん直筆の「コテガキ」を少しだけご紹介！







▶ファルコムニュース◀

ファルコムファンに贈る最新ニュースをピックアップ！







英雄伝説 閃の軌跡 追加ダウンロードコンテンツ

一味違うファッションを楽しんでみる？

最新作『英雄伝説 閃の軌跡』から追加ダウンロードコンテンツが続々発表！　マップ移動中だけでなく戦闘やイベントシーンにも反映されるⅦ組メンバーの私服やARCUSカバーなど、自分好みのカスタムが楽しめる。また、レア魔獣「シャイニングポム」を呼び出すことができる「Ｓポムのエサ」３個セットの無料配信中なのでこちらも見逃せない。PlayStation(R)Storeで販売中。詳細はHPまで→（http://www.falcom.co.jp/sen/product/dlc.html）







軌跡シリーズ10周年記念フェア 2013WINTER

その場でもらえるプレゼント!

日本ファルコムが誇る「軌跡」シリーズの10周年を記念した企画が決定。フェア実施ショップ店頭で期間中にファルコムのタイトルを購入された方に、先着でオリジナル卓上カレンダーがプレゼントされる。『閃』の最新イラストの他、歴代シリーズのキャラクターが登場する描き下ろしも収録した豪華仕様となっている。12月10日から、カレンダーがなくなり次第終了。





詳細は特設サイトでチェック！
http://www.falcom.com/winter_fair2013/index.html

Falcom FanArt Collection

数々の名作で多くのファンを生み出してきた日本ファルコム。
FFCでは、そんなファルコムを愛するイラストレーターの方々のイラストとコメントを毎月お届けします！



泉水真琴

最新作の『閃の軌跡』のキャラを描かせて頂きました！
　この３人が序章から仲良しでかわいくて…！　自由行動日に３人で仲良く街道をお出かけ…なんてイメージで描いてみました。

『英雄伝説 閃の軌跡』（2013）

ゼムリア大陸最大の国・エレボニア帝国を舞台とした日本ファルコム最新作。貴族や平民が共に学ぶ「トールズ士官学校」で繰り広げられる少年少女の葛藤と戦いを描かれている。

月刊 FALCOM MAGAZINE Vol.34

発行人	田中一寿
発行協力	日本ファルコム株式会社
編集	小渕智幸 大場恵美子
ライティング	宮崎洋平
デザイン・DTP	さとうだいち
表紙ロゴデザイン	荻窪裕司（ビーニーズ）
発行	株式会社フィールドワイ 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1-9　日光ビル3F TEL 03-5282-2211（代表） http://www.field-y.co.jp/
制作・販売協力	シナノ印刷株式会社



FALCOM MAGAZINE SPECIAL プレゼント!!

アンケートにお答えいただいた方から抽選で
ここでしか手に入らないアイテムをプレゼント！

今月のプレゼントはこちら!!



①1名様

❶アニメ化記念！
新久保先生サイン入り
みんな集まれ！
ファルコム学園第２巻

奇跡（？）のアニメ化となった『ファルコム学園』から新久保先生のサイン入り単行本を再放出！　もう持っている貴方も保存用にもう１冊いかが？



②1名様

❷『閃の軌跡マガジン』vol.1～7セット

全国ゲームショップで配布された『閃の軌跡マガジン』を７冊セットで！　キャストコメントなど豊富な情報でコレクションには最適！

プレゼントの応募方法

こちらのアンケートの回答を下記のアドレスまでメールにてお送りください。
プレゼントの当選者には編集部よりメールにてお知らせ致します。

宛先：
件名：vol.34プレゼント係

1：お名前（ペンネーム可）
2：面白い→
　つまらない→
3：①
　②
4：希望するプレゼント番号
5：ご意見・ご感想など

【記事一覧】

1：日本ファルコム 代表取締役社長
　近藤季洋氏インタビュー
2：ドラマCD『みにどらまざんまい』
　シナリオ第２弾
3：アニメ『みんな集まれ！ファルコム学園』
　最新情報大公開！
4：『みんな集まれ！ファルコム学園』
5：『よりぬき！ファルコム学園』
6：jdkバンドドラマー・オカジの
　人生半キャラずらし
7：ティオのファルコムラジオ
　めんどくさいです…でもがんばりますの舞台裏
8：jdkバンドボーカル・コテカナのコテ放題♥
9：FalcomFanArtCollection
10：ファルコムニュース

アンケート

①ファルコムのゲーム音楽の
　楽譜集が発売されたら
　購入を検討しますか？
②日本ファルコムの
　ゲーム作品で1番好きな作品は
　何ですか？

●アンケートの２番は記事一覧から１つずつ今月号の面白かった・つまらなかった記事を選んでご記入ください。３番は「はい・いいえ」「作品名」でお答えください。

宛先はこちら➡ falmaga@field-y.co.jp　応募締め切り 12月24日

メールにてお送りいただくお名前やご住所等の情報は、賞品の発送のためのみに利用し、その他の目的には利用致しません。
また、情報は応募締め切り後３ヶ月を越えて保有することはありません。